

大 分 県  
在宅医療に関するアンケート調査  
報 告 書

令和5年 9月





# 目 次

I 調査概要	1
II 調査結果	2
○ 回答者属性	2
1 在宅医療の認知状況（問1）	5
2 在宅医療や介護のサービスの認知状況（問2）	6
3 かかりつけ医について（問3）	7
4 かかりつけ薬局（問4）	8
5 在宅医療や介護サービスに関するイメージ（問5）	9
（1）住み慣れた環境で家族や知人に囲まれて療養できる	9
（2）入院と比べ、自分のペースで過ごせる	10
（3）在宅でどのような医療を受けられるか分からない	11
（4）在宅でどのような介護を受けられるか分からない	12
（5）急に症状が変わったときの対応に不安がある	13
（6）訪問診療をしてくれる医師を見つけるのが難しい	14
（7）訪問看護でどんなことができるのか分からない	15
（8）家族に負担がかかる	16
（9）療養できる部屋や風呂、トイレなど住環境が整っている必要がある	17
（10）費用が高額になる	18
（11）在宅では満足のいく最期を迎えられない	19
6 人生の終末期について	20
（1）最期を迎えたい場所（自分の場合）	20
（2）それまでに受けたい医療・ケア（自分の場合）	22
（3）家族が最期を迎えてほしい場所（家族の場合）	23
（4）それまでに受けさせたい医療・ケア（家族の場合）	25
（5）自宅での療養の可能性	26
（6）実現が困難な理由	27
7 健康や医療に関する相談先（問10）	29
8 介護サービスの利用に関する相談先（問11）	31
9 在宅医療や介護サービスに関して知りたいこと（問12）	33
10 在宅医療や介護サービスに関する情報源（問13）	35
11 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について（問14）	37
12 自身や家族が望む医療ケア等について考えたこと（問15）	38
13 自身や家族が望む医療ケア等について話し合ったこと（問16）	39
14 話し合ったことがない理由（問17）	40
15 人生会議を進めることについて（問18）	42



# I 調査概要

## 1 調査の目的

本調査は、大分県における在宅医療の推進を図るための基礎資料を得ることを目的に実施しました。

## 2 対象者と抽出方法

大分県内に居住する20歳以上の男女個人を住民基本台帳から無作為に3,000人を抽出しました。

## 3 調査方法

郵送調査法とWEB調査を併用

## 4 調査時期

令和5年7月24日～令和5年8月7日

## 5 配布・回収状況

	発送数	回収数	回収率		発送数	回収数	回収率
大分市	1,265	616	48.7%	宇佐市	139	52	37.4%
別府市	313	146	46.6%	豊後大野市	91	56	61.5%
中津市	220	101	45.9%	由布市	87	44	50.6%
日田市	164	72	43.9%	国東市	72	40	55.6%
佐伯市	180	79	43.9%	姫島村	4	2	50.0%
臼杵市	97	44	45.4%	日出町	73	32	43.8%
津久見市	43	22	51.2%	九重町	23	15	65.2%
竹田市	55	29	52.7%	玖珠町	39	21	53.8%
豊後高田市	60	28	46.7%	市町村不明	-	8	-
杵築市	75	35	46.7%	合計	3,000	1,442	48.1%

## 6 調査結果の処理

○回答比率は、百分比の小数点第2位を四捨五入していますので、合計は必ずしも100%にならないことがあります。

○2つ以上の回答を求めた(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超えます。

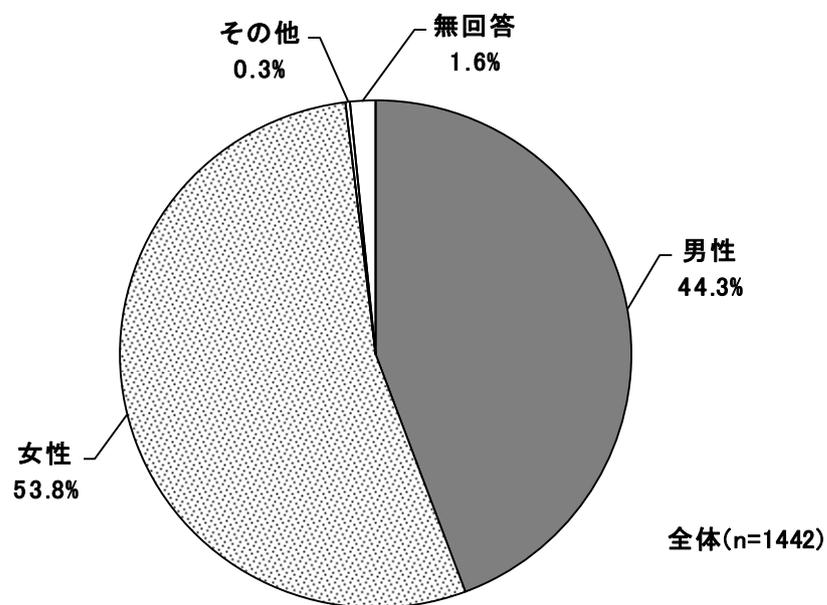
○図に表示された「n」は、回答者数を示しています。

## Ⅱ 調査結果

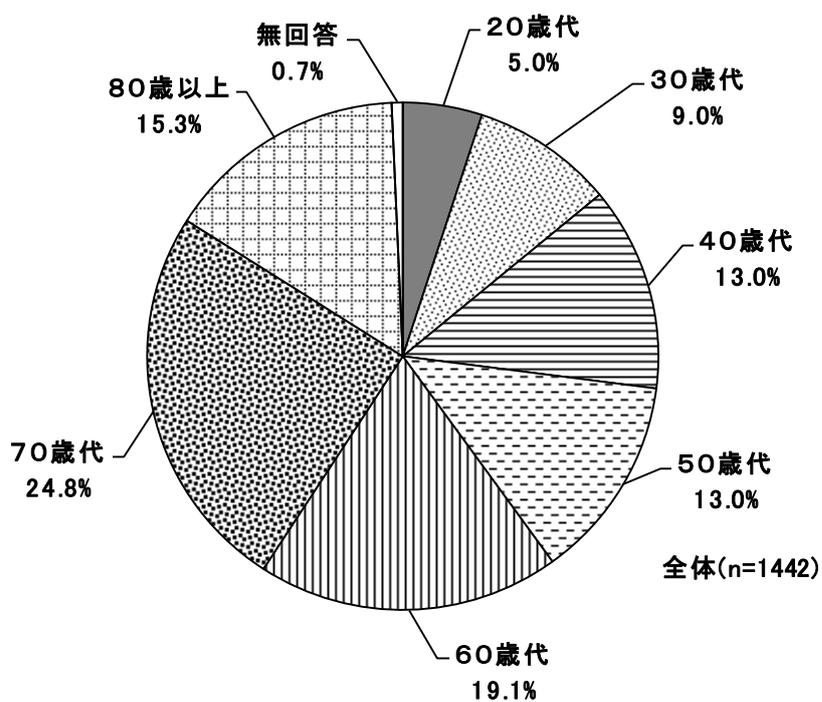
### ○ 回答者属性

有効回収のあった1,442人の属性は、以下のとおりです。

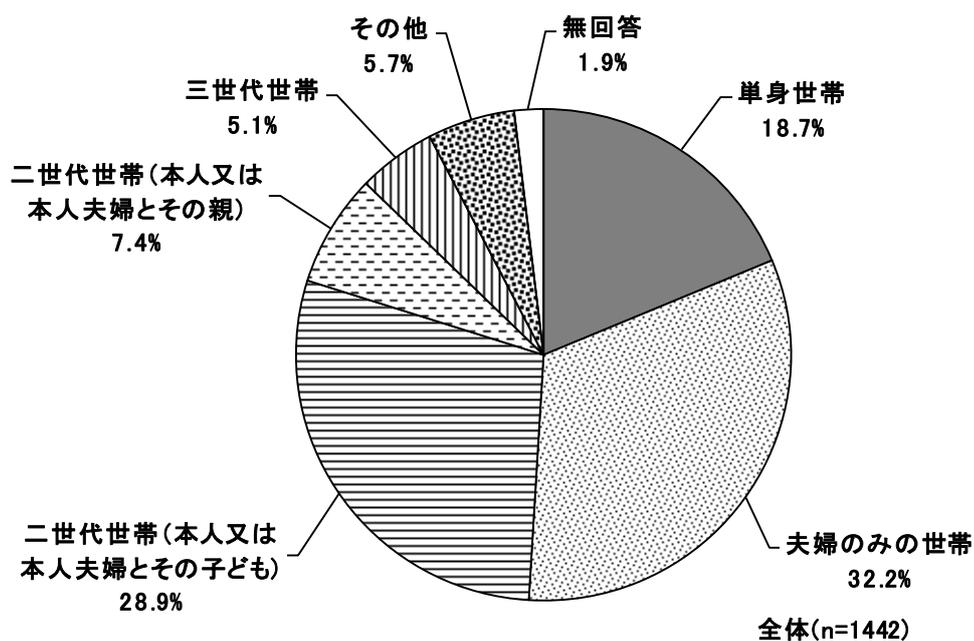
#### 【性別】



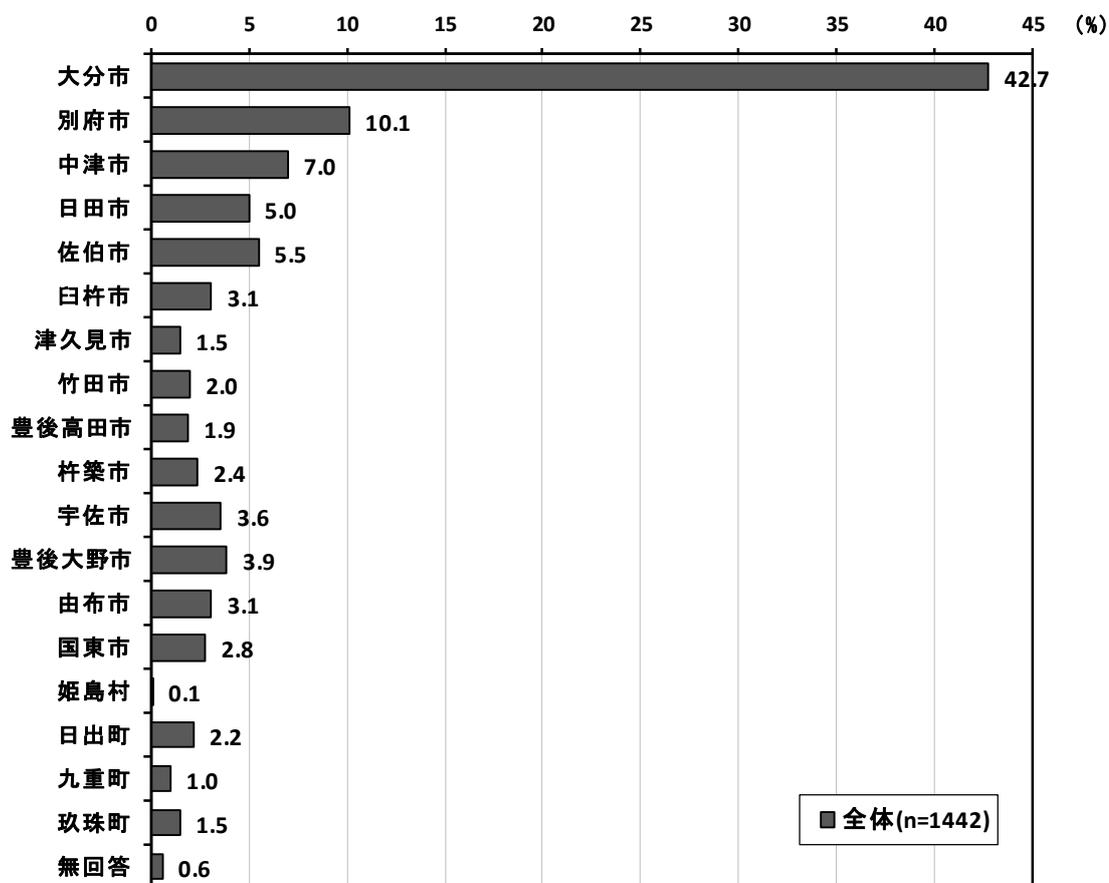
#### 【年齢】



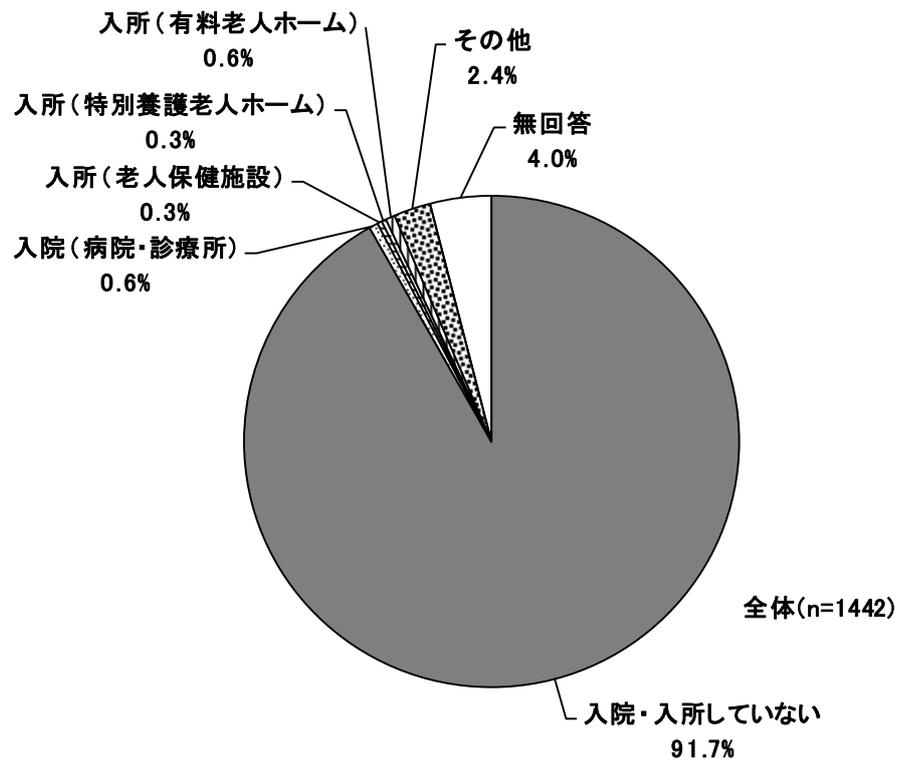
【 家族構成 】



【 居住市町村 】



【 現在の入院・入所の状況 】



# 1 在宅医療の認知状況（問1）

在宅医療について、「知っている」は 50.9%、「聞いたことがある」は 41.1%、合計した認知率は 92.0%です。「知らない」は 7.1%となっています。

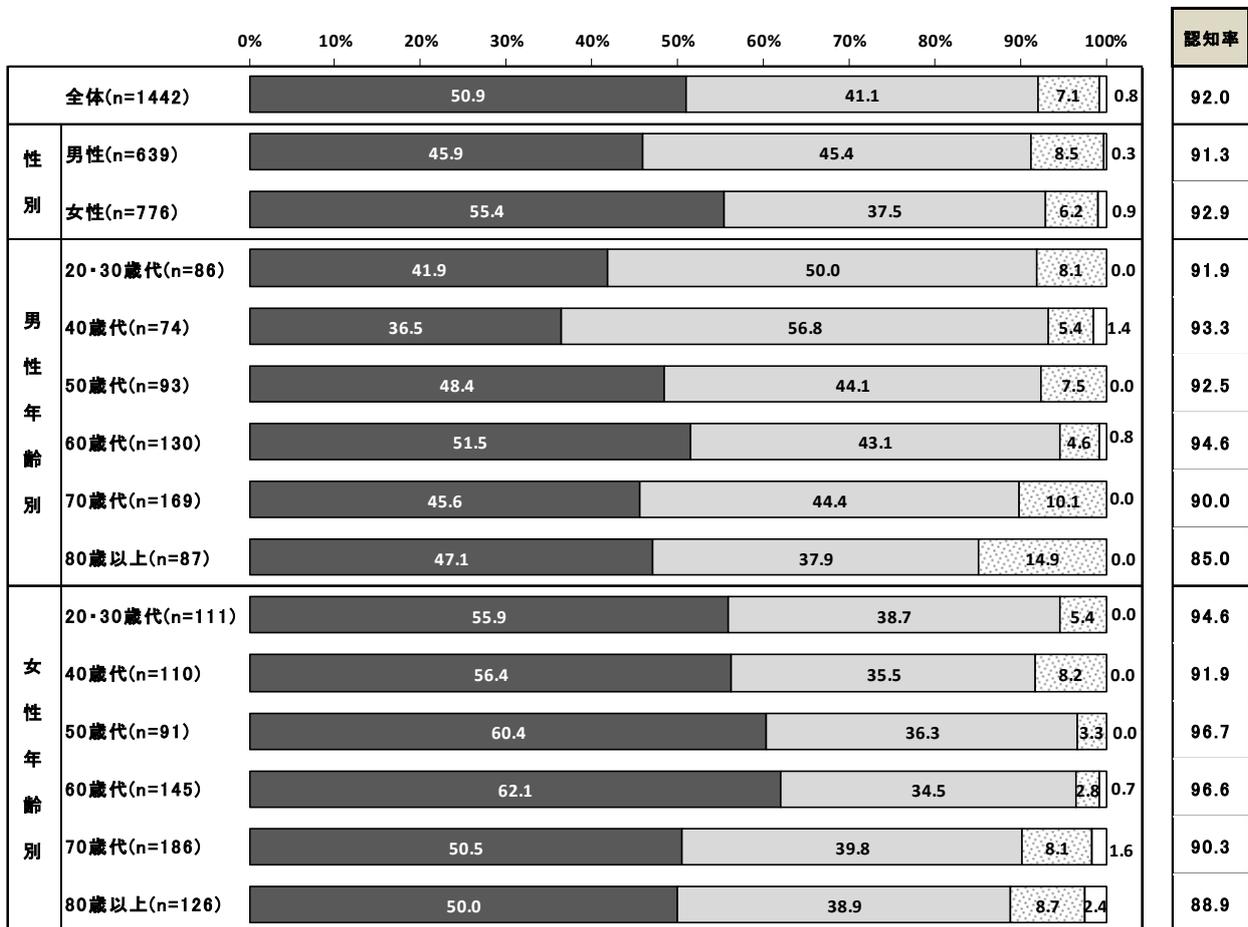
## 【経年比較】

- 「知っている」が 47.7%から 50.9%に 3.2 ポイント増加しています。認知率も 89.8%が 92.0%に 2.2 ポイント増加しています。

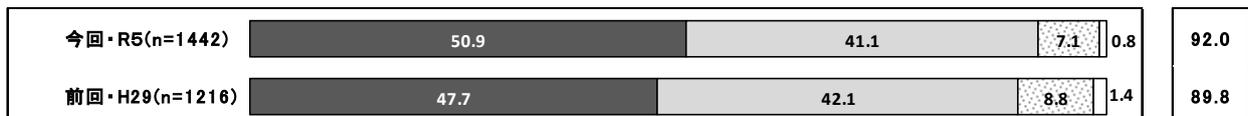
## 【属性別特徴】

- 性別にみると、「知っている」は、女性では 55.4%ですが、男性では 45.9%と 9.5 ポイント少なくなっています。
- 年齢別にみると、「知っている」は、男性では 50 歳代、60 歳代で5割を超えるのみですが、女性では全年齢で5割を超えており、中でも 50 歳代、60 歳代では6割を超えています。

問1 あなたは「在宅医療」について知っていますか。（1つだけ○）



## 【経年比較】



■ 知っている □ 聞いたことがある ▨ 知らない □ 無回答

(※) 認知率 = 「知っている」 + 「聞いたことがある」

## 2 在宅医療や介護のサービスの認知状況（問2）

在宅医療や介護のサービスについての認知状況をみると、「訪問介護（ホームヘルパーの訪問）」が82.1%と最も多くなっています。次いで「訪問診療（医師の訪問）」が77.5%、「訪問看護（看護師等の訪問）」が73.3%となっています。

これらに比べると、「訪問歯科診療（歯科医師の訪問）」（29.8%）、「訪問薬剤管理指導（薬剤師の訪問）」（19.1%）、「24時間地域巡回型訪問サービス」（13.5%）は少なくなっています。

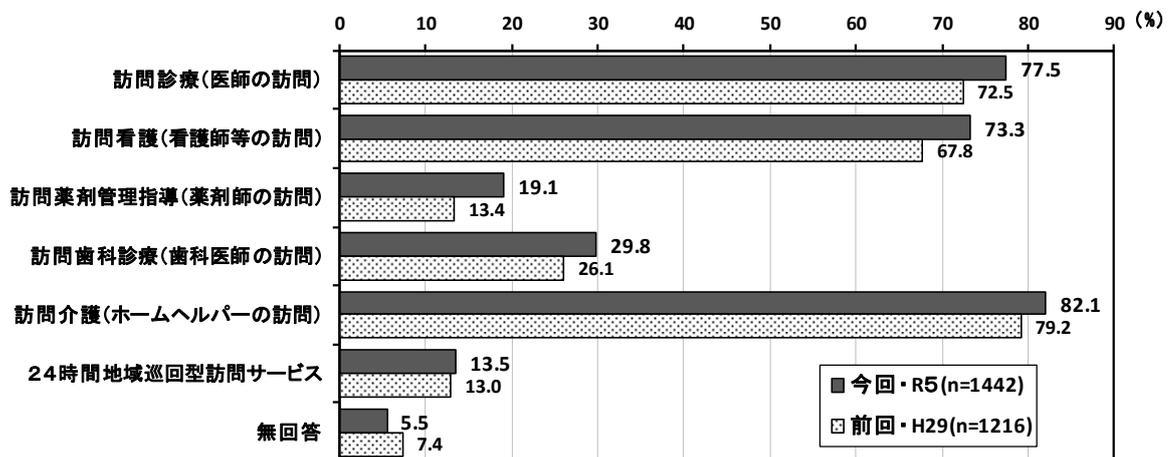
### 【経年比較】

- いずれのサービスも前回調査の認知率を上回っています。

### 【属性別特徴】

- 性別にみると、すべてのサービスについて、男性より女性の認知率が高くなっています。
- 年齢別にみると、男女の差が極めてはっきりしており、男性に比べて女性の認知率の高さが目立ちます。

問2 あなたは、次の在宅医療や介護のサービスを知っていますか。（あてはまるものすべてに○）



		サンプル数	訪問診療 (医師の訪問)	訪問看護 (看護師等の訪問)	訪問薬剤管理指導 (薬剤師の訪問)	訪問歯科診療 (歯科医師の訪問)	訪問介護 (ホームヘルパーの訪問)	24時間地域巡回型訪問サービス	無回答
全体		1442	77.5	73.3	19.1	29.8	82.1	13.5	5.5
性別	男性	639	75.3	69.8	13.5	23.0	79.2	10.5	6.4
	女性	776	79.8	76.8	23.6	<b>35.6</b>	85.2	16.0	3.9
男性年齢別	20・30歳代	86	<b>82.6</b>	74.4	17.4	22.1	84.9	15.1	3.5
	40歳代	74	79.7	74.3	18.9	31.1	77.0	8.1	4.1
	50歳代	93	80.6	72.0	19.4	34.4	<b>88.2</b>	15.1	3.2
	60歳代	130	80.0	73.8	14.6	27.7	84.6	11.5	3.1
	70歳代	169	68.0	63.3	7.7	15.4	74.0	8.9	10.1
	80歳以上	87	65.5	65.5	8.0	12.6	67.8	4.6	12.6
女性年齢別	20・30歳代	111	<b>87.4</b>	<b>84.7</b>	<b>33.3</b>	<b>36.0</b>	<b>91.9</b>	16.2	0.9
	40歳代	110	<b>88.2</b>	<b>79.1</b>	<b>30.0</b>	<b>44.5</b>	<b>87.3</b>	<b>21.8</b>	3.6
	50歳代	91	<b>87.9</b>	<b>84.6</b>	<b>29.7</b>	<b>56.0</b>	<b>95.6</b>	<b>30.8</b>	1.1
	60歳代	145	<b>88.3</b>	<b>84.8</b>	<b>30.3</b>	<b>44.8</b>	<b>90.3</b>	<b>20.7</b>	2.1
	70歳代	186	73.1	71.5	16.7	25.3	82.3	9.1	3.8
	80歳以上	126	60.3	61.9	8.7	19.0	69.0	5.6	11.1

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「無回答」を除く)

### 3 かかりつけ医について（問3）

普段の健康状態や病気のことを相談でき、決まって診療を受ける「かかりつけ医」についてみると、「かかりつけ医がいる」は 65.1%、「かかりつけ医はいないが持ちたいと考えている」が 28.0%、「かかりつけ医はおらず、今後も必要ないと思っている」が 5.5%となっています。

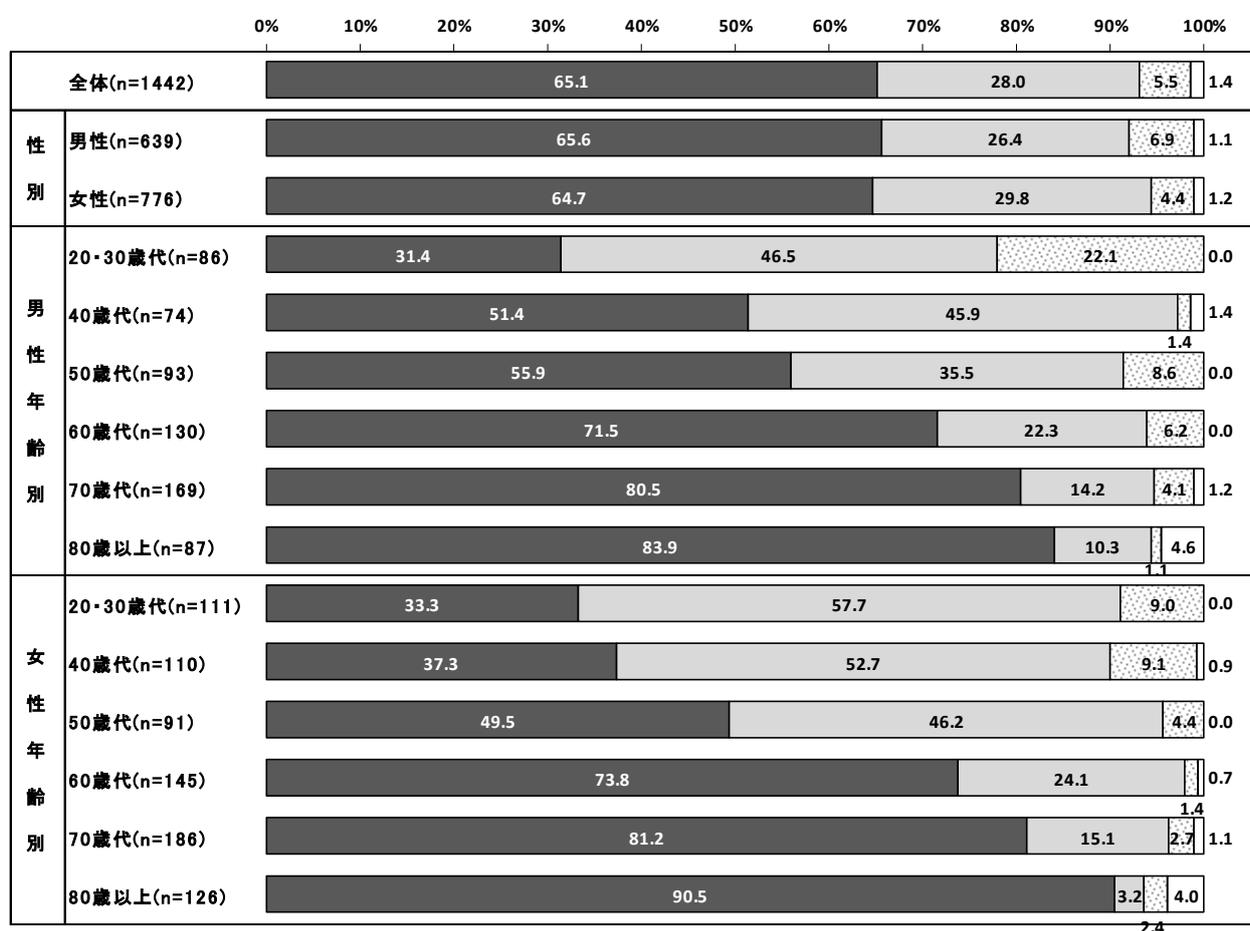
#### 【経年比較】

- 前回調査と同水準で推移しています。

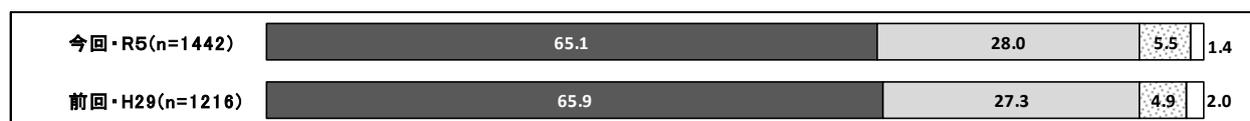
#### 【属性別特徴】

- 性別にみると、男女に大きな差はみられません。
- 年齢別にみると、男女とも年齢が高くなるほど、「かかりつけ医がいる」が多くなっており、男女とも 70 歳代以上で8割を超えています。

問3 あなたには、普段の健康状態や病気のことを相談でき、決まって診療を受ける「かかりつけ医」がいますか。（1つだけ○）



#### 【経年比較】



■ かかりつけ医がいる    □ かかりつけ医はいないが持ちたいと考えている    □ かかりつけ医はおらず、今後も必要ないと思っている    □ 無回答

#### 4 かかりつけ薬局（問4）

普段の健康状態や病気のことを相談でき、決まって診療を受ける「かかりつけ薬局」についてみると、「かかりつけ薬局がある」が 47.2%、「かかりつけ薬局はないが持ちたいと考えている」が 34.5%、「かかりつけ薬局はなく、今後もし必要ないと思っている」が 15.4%となっています。

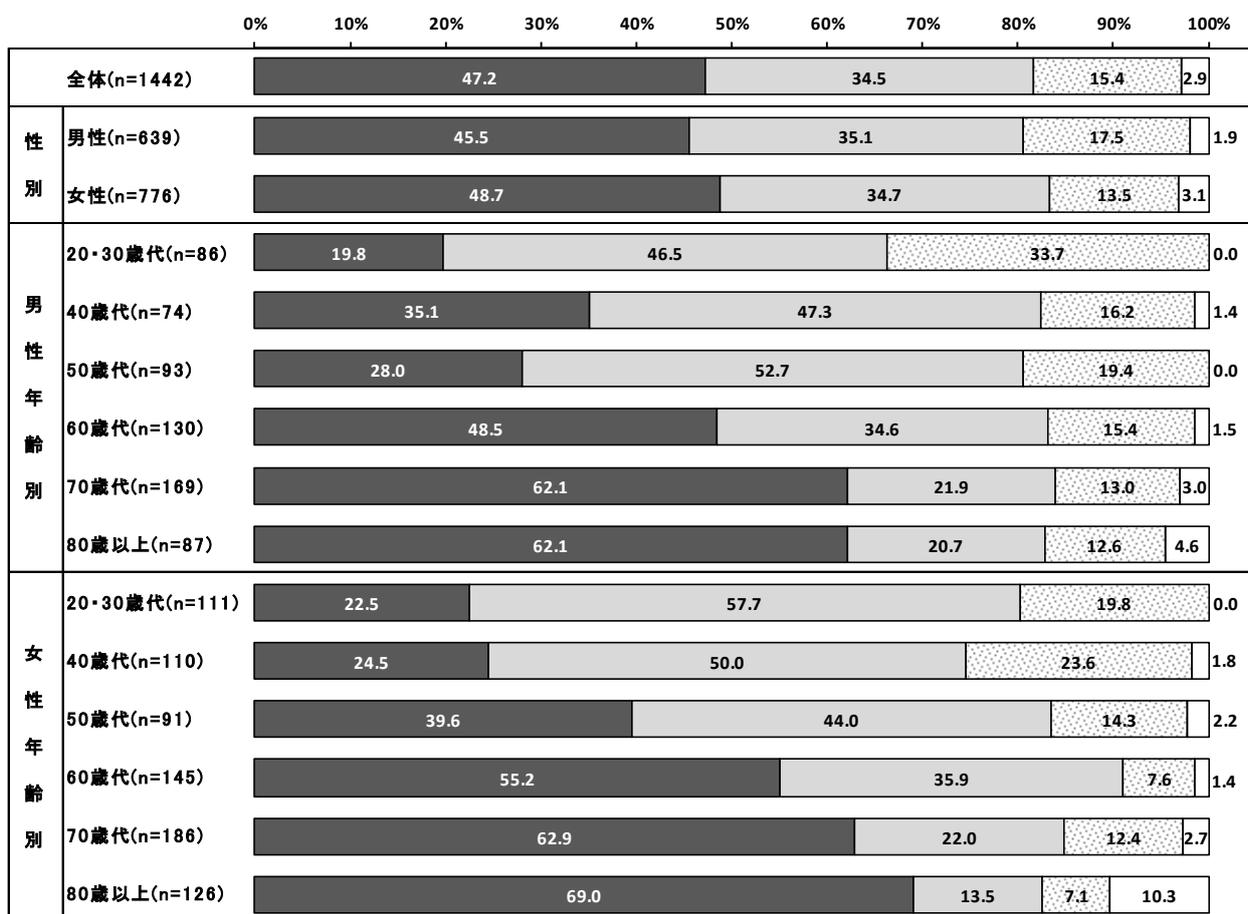
##### 【経年比較】

- 「かかりつけ薬局がある」が 41.5%から 47.2%に 5.7 ポイント増加しています。

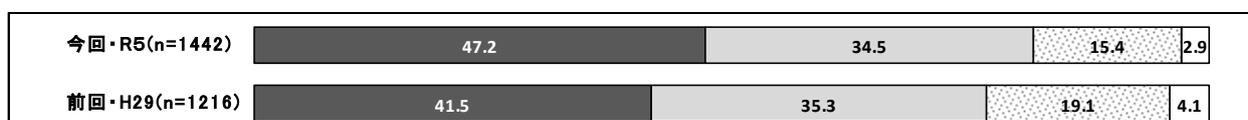
##### 【属性別特徴】

- 性別にみると、男性よりも女性の方がかかりつけ薬局を望む人が多くなっています。
- 男性年齢別にみると、50 歳代以下と 70 歳以上と差が大きく、70 歳以上で「かかりつけ薬局がある」が6割を超えています。
- 女性年齢別にみると、年齢が高いほど「かかりつけ薬局がある」が多く、80 歳以上では 69.0%となっています。

問4 あなたには、普段の健康状態や薬のことを相談できる「かかりつけ薬局」がありますか。（1つだけ○）



##### 【経年比較】



■ かかりつけ薬局がある □ かかりつけ薬局はないが持ちたいと考えている ▨ かかりつけ薬局はなく、今後もし必要ないと思っている □ 無回答

## 5 在宅医療や介護サービスに関するイメージ（問5）

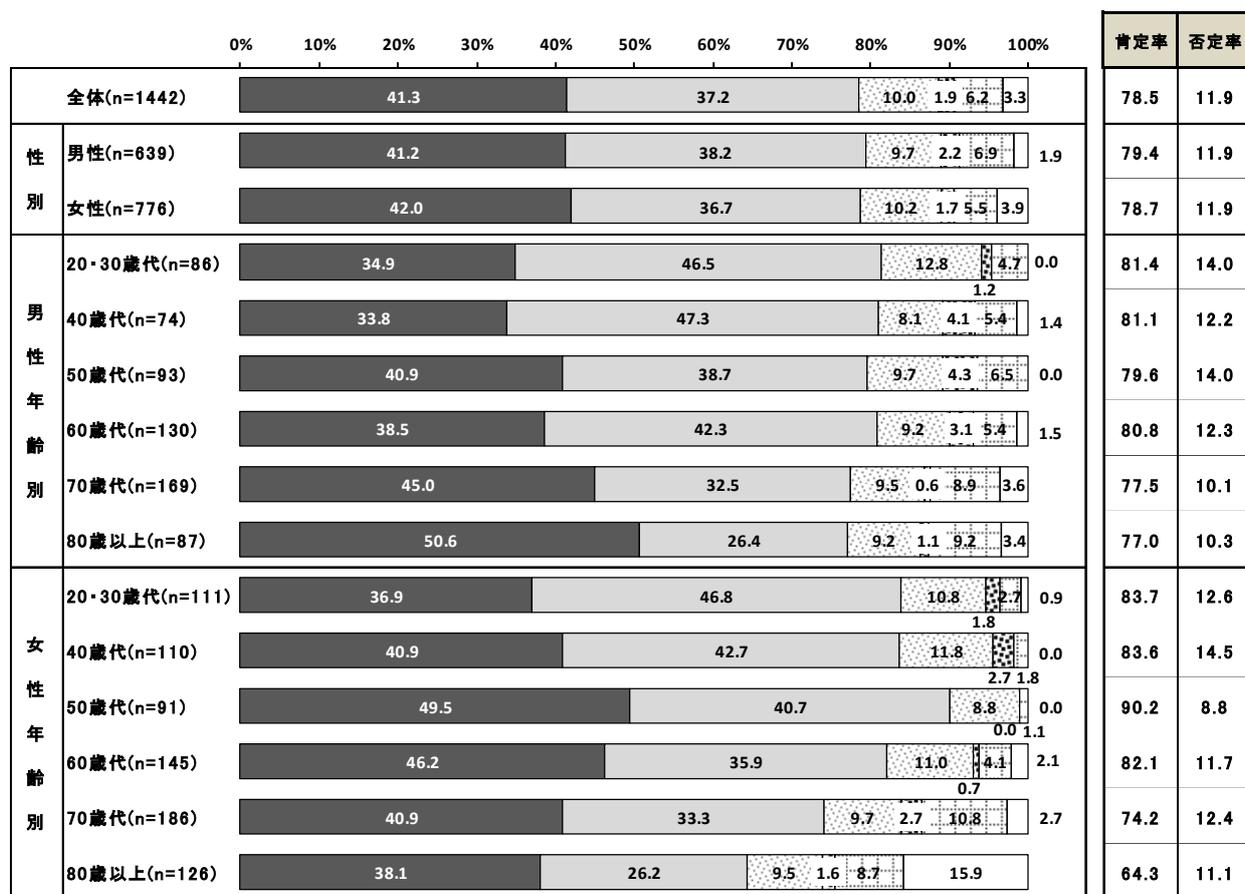
### （1）住み慣れた環境で家族や知人に囲まれて療養できる

「とてもそう思う」は41.3%、「やや思う」は37.2%、合計した肯定率は78.5%となっています。一方、否定率は11.9%（「あまり思わない」10.0%+「まったく思わない」1.9%）となっています。

#### 【属性別特徴】

- 性別にみると、大きな差はみられません。
- 年齢別にみると、男女とも60歳代以上になると、加齢とともに肯定率が減少しています。

#### 問5-1 住み慣れた環境で家族や知人に囲まれて療養できる



■ とてもそう思う □ やや思う ▨ あまり思わない ▩ まったく思わない □ わからない □ 無回答

(※) 肯定率=「とてもそう思う」+「ややそう思う」 否定率=「まったく思わない」+「あまり思わない」

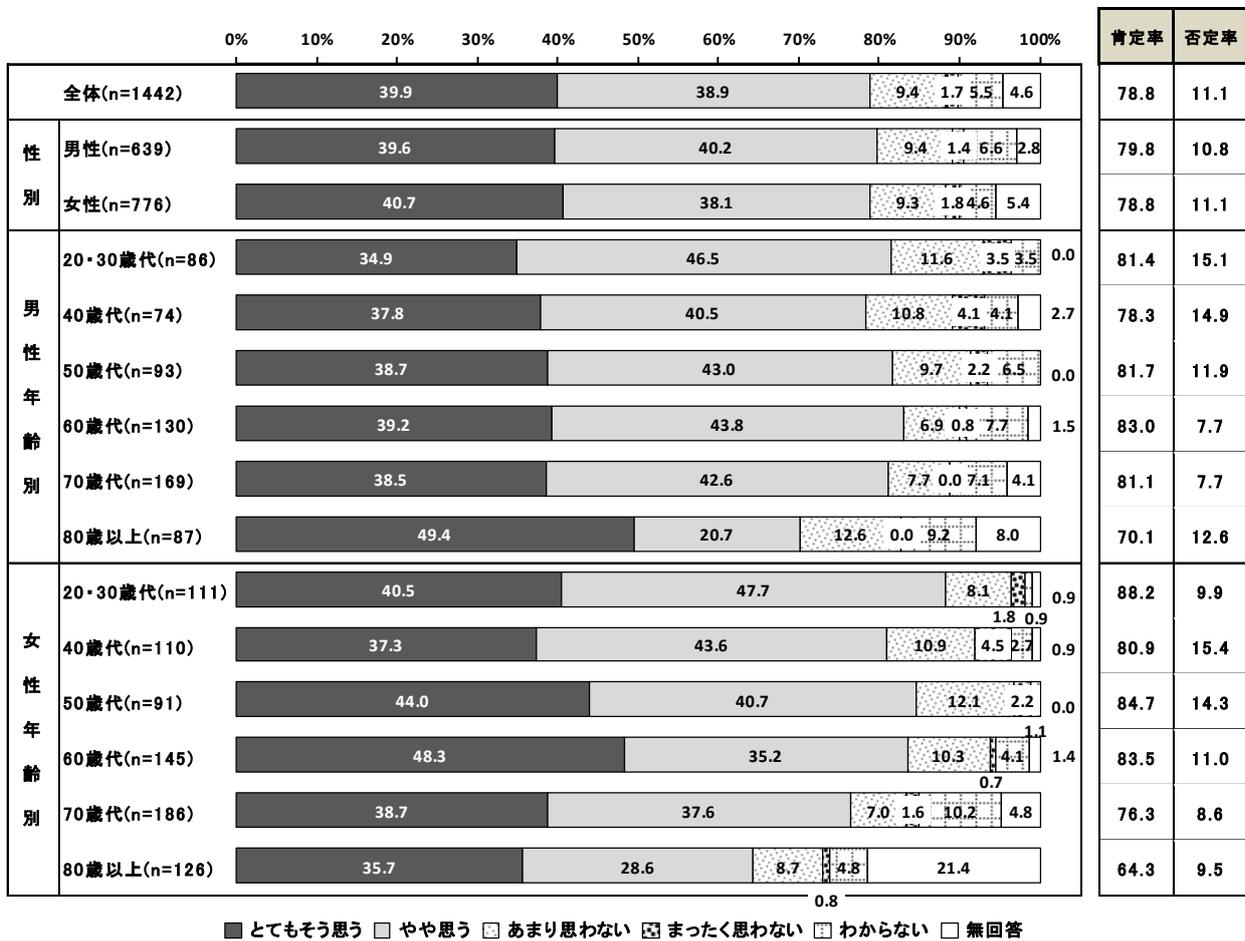
(2) 入院と比べ、自分のペースで過ごせる

「とてもそう思う」は 39.9%、「やや思う」は 38.9%、合計した肯定率は 78.8%となっています。一方、否定率は 11.1%（「あまり思わない」9.4%+「まったく思わない」1.7%）となっています。

【属性別特徴】

- 性別にみると、大きな差はみられません。
- 男性年齢別にみると、70 歳代までは肯定率は8割前後で大きな差はみられませんが、80 歳以上になると7割に低下しています。
- 女性年齢別にみると、60 歳代までは高定率が8割台となっていますが、70 歳代では7割台、80 歳以上では6割台まで低下しています。

問5-2 入院と比べ、自分のペースで過ごせる



(※) 肯定率=「とてもそう思う」+「ややそう思う」 否定率=「まったく思わない」+「あまり思わない」

(3) 在宅でどのような医療を受けられるか分からない

「とてもそう思う」は18.7%、「やや思う」は39.7%、合計した肯定率は58.4%となっています。一方、否定率は23.4%（「あまり思わない」19.2%+「まったく思わない」4.2%）となっています。

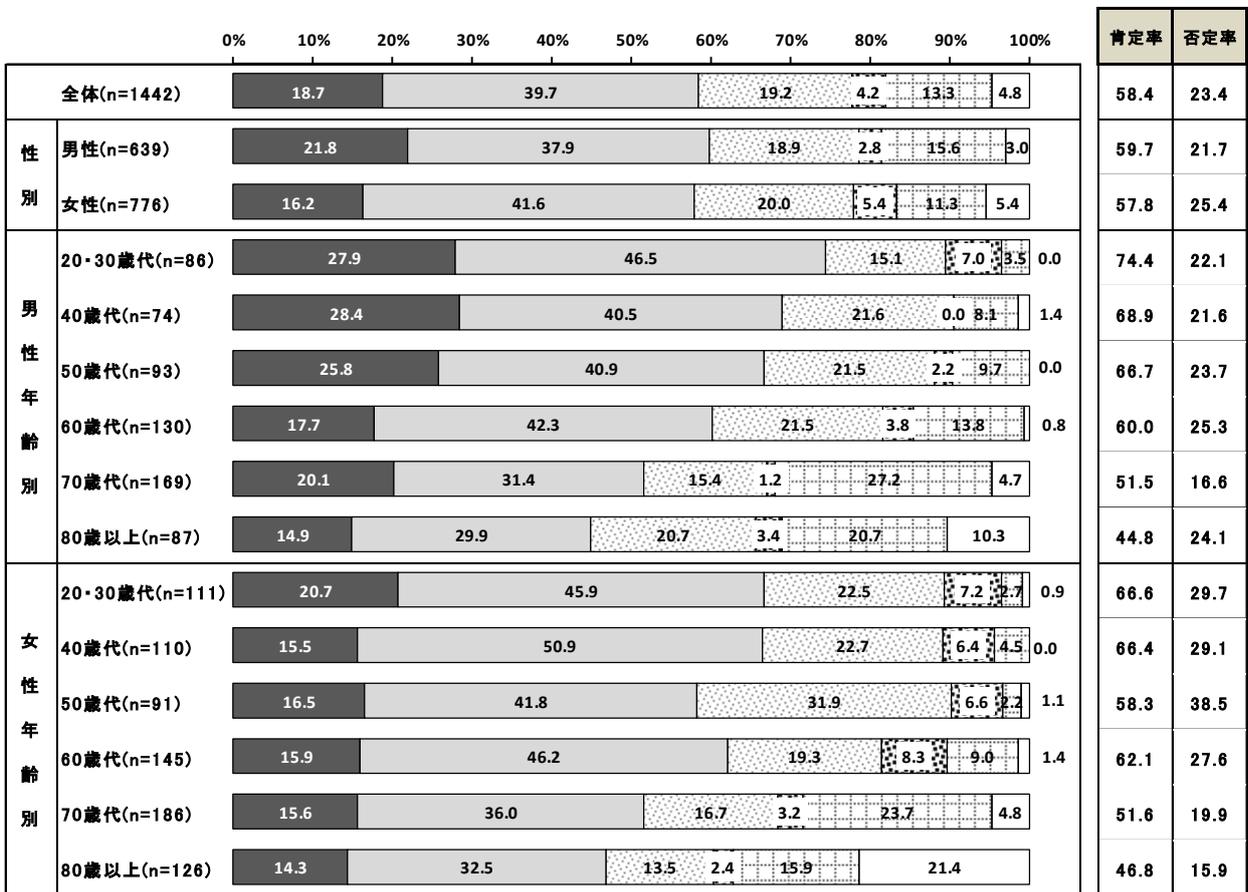
【経年比較】

- 「とてもそう思う」は減少していますが、「やや思う」が増加しているため、肯定率は51.2%から58.4%に、7.2ポイント増加しています。

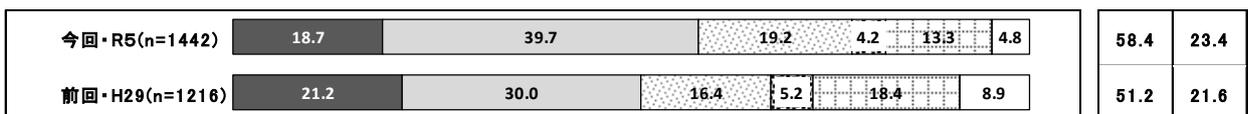
【属性別特徴】

- 性別にみると、男性では「とてもそう思う」が21.8%ですが、女性では5.6ポイント少ない16.2%となっています。
- 年齢別にみると、男性では年齢が低いほど肯定率が高くなっていますが、女性では男性ほど顕著な傾向はみられません、概ね同様の傾向にあります。

問5-3 在宅でどのような医療を受けられるか分からない



【経年比較】



■ とてもそう思う □ やや思う ▨ あまり思わない ▩ まったく思わない □ わからない □ 無回答

(※) 肯定率=「とてもそう思う」+「ややそう思う」 否定率=「まったく思わない」+「あまり思わない」

(4) 在宅でどのような介護を受けられるか分からない

「とてもそう思う」は17.3%、「やや思う」は38.4%、合計した肯定率は55.7%となっています。一方、否定率は26.9%（「あまり思わない」20.7%+「まったく思わない」6.2%）となっています。

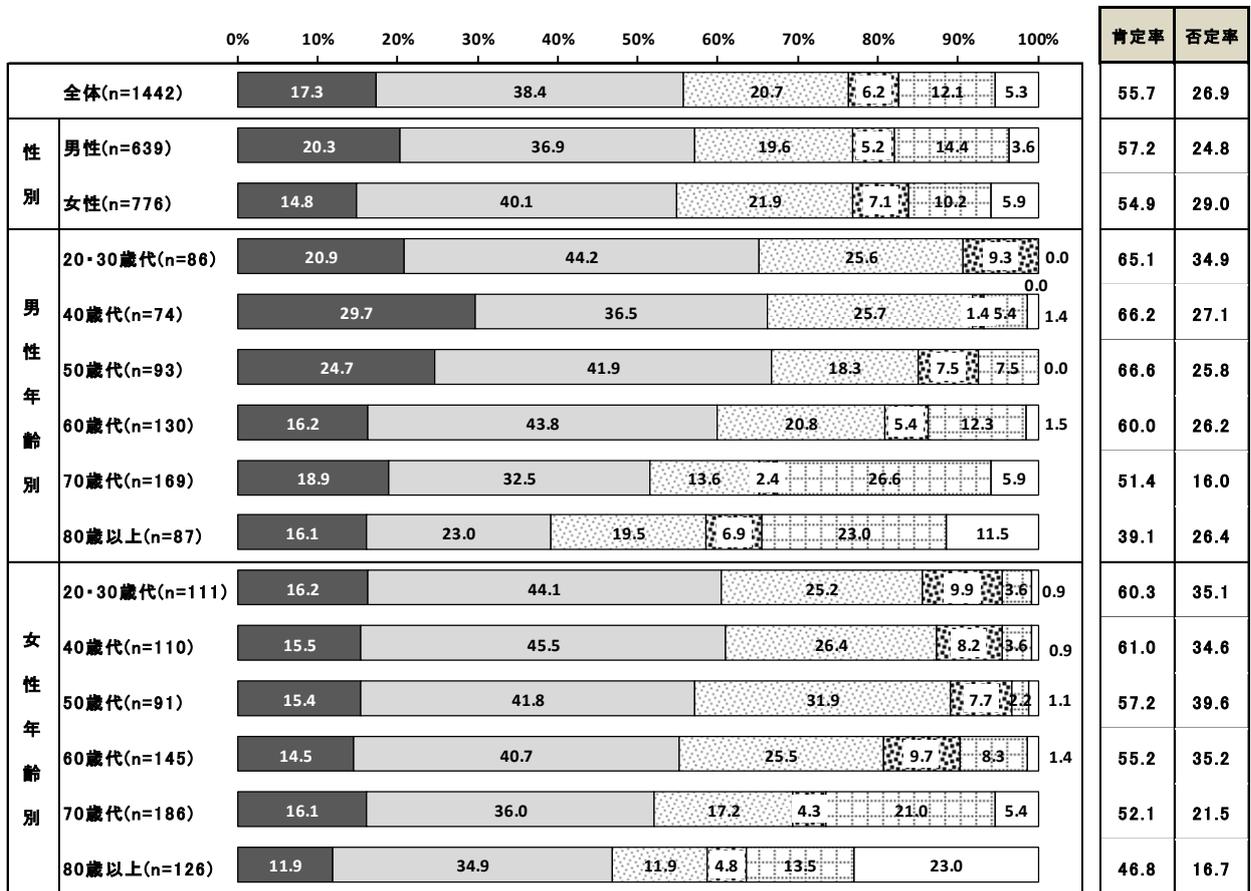
【経年比較】

- 「ややそう思う」が増加しているため、肯定率は48.7%から55.7%に7.0ポイント増加しています。

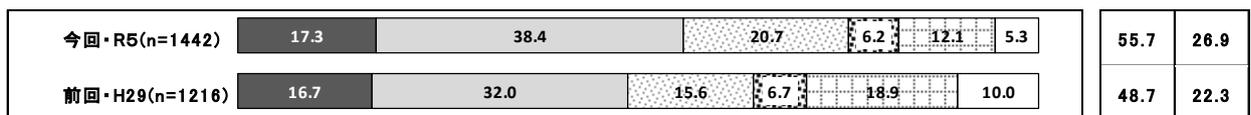
【属性別特徴】

- 性別にみると、男性では「とてもそう思う」が20.3%ですが、女性では5.5ポイント少ない14.8%となっています。
- 年齢別にみると、肯定率は、男性80歳以上で4割弱、女性80歳以上で5割弱と最も低くなっていますが、年齢が低くなると増加し、男性60歳代以下、女性40歳代以下の年齢層では、肯定率が6割台となっています。

問5-4 在宅でどのような介護を受けられるか分からない



【経年比較】



■ とてもそう思う □ やや思う □ あまり思わない □ まったく思わない □ わからない □ 無回答

(※) 肯定率=「とてもそう思う」+「ややそう思う」 否定率=「まったく思わない」+「あまり思わない」

(5) 急に症状が変わったときの対応に不安がある

「とてもそう思う」は41.4%、「やや思う」は36.1%、合計した肯定率は77.5%となっています。一方、否定率は13.2%（「あまり思わない」11.6%+「まったく思わない」1.6%）となっています。

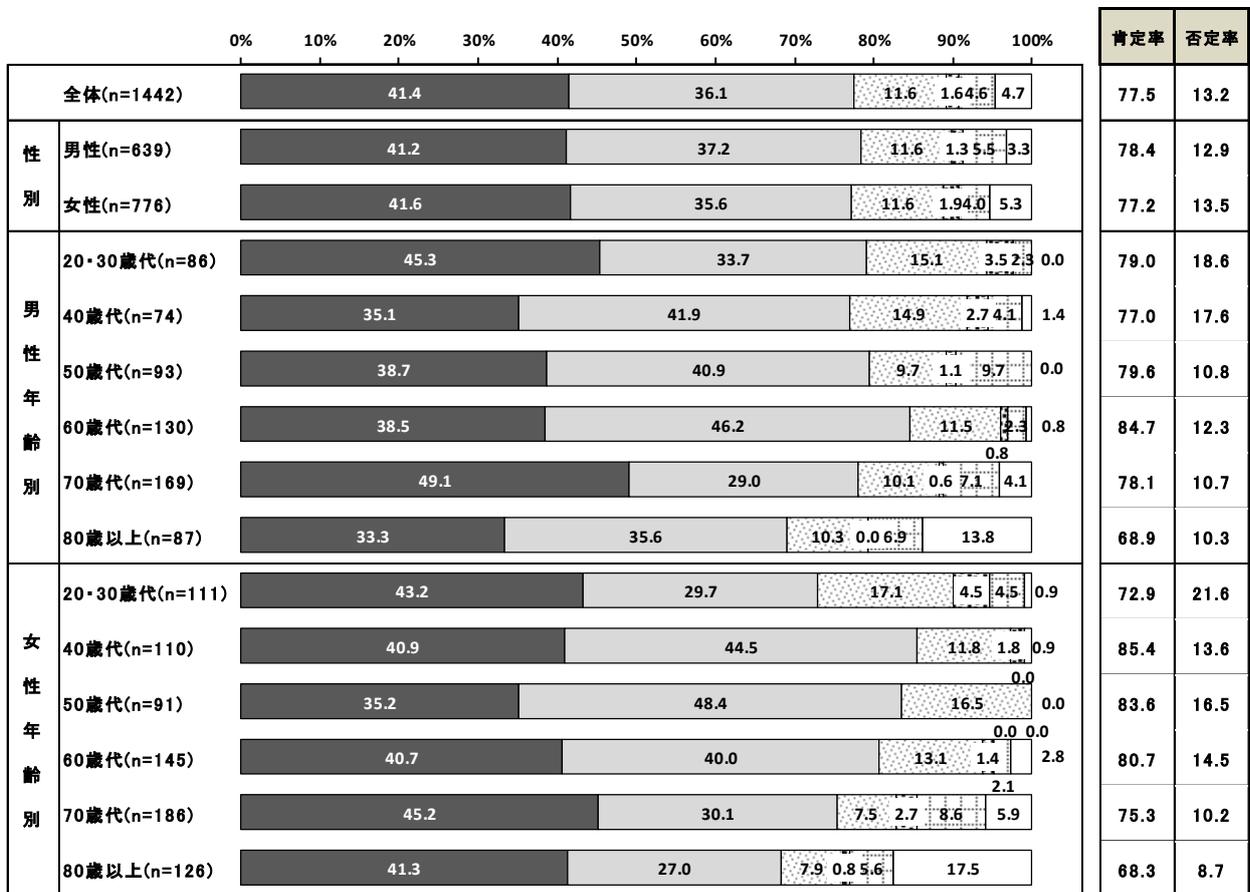
【経年比較】

- 肯定率が69.6%から77.5%に7.9ポイント増加しています。

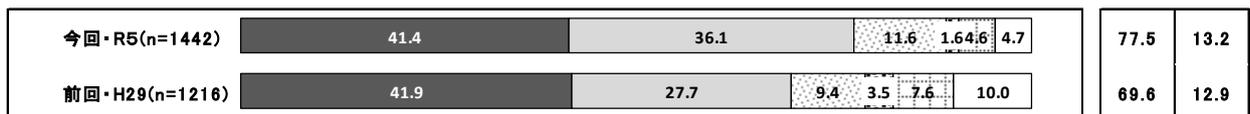
【属性別特徴】

- 性別にみると、男女に大きな差はみられません。
- 年齢別にみると、肯定率は男女とも80歳以上で7割弱となっていますが、女性20・30歳代を除く70歳代以下の年齢層では8割前後と高くなっています。

問5-5 急に症状が変わったときの対応に不安がある



【経年比較】



■ とてもそう思う □ やや思う □ あまり思わない □ まったく思わない □ わからない □ 無回答

(※) 肯定率=「とてもそう思う」+「ややそう思う」 否定率=「まったく思わない」+「あまり思わない」

(6) 訪問診療をしてくれる医師を見つけるのが難しい

「とてもそう思う」は 37.3%、「やや思う」は 35.2%、合計した肯定率は 72.5%となっています。一方、否定率は 14.6%（「あまり思わない」11.2%+「まったく思わない」3.4%）となっています。

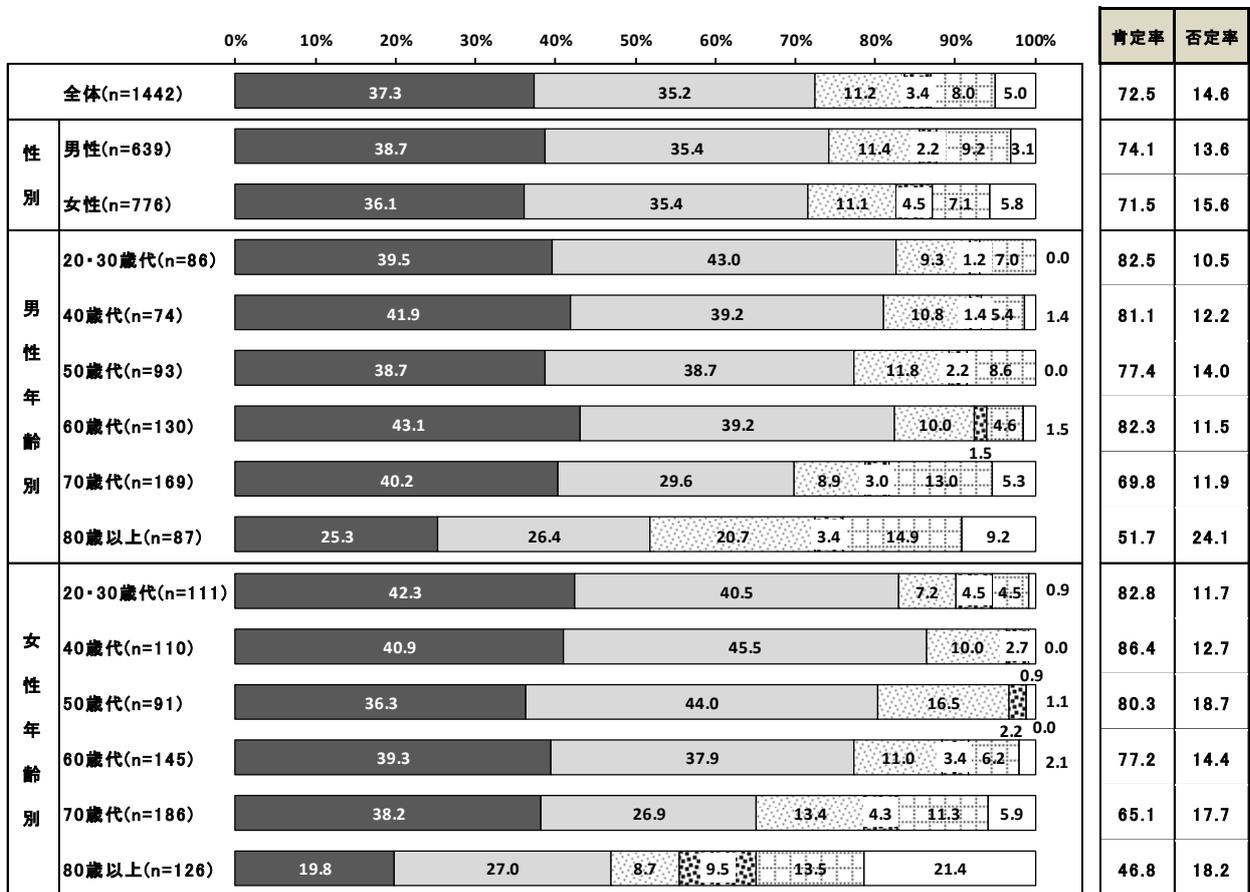
【経年比較】

- 肯定率が 63.1%から 72.5%に 9.4 ポイント増加しています。

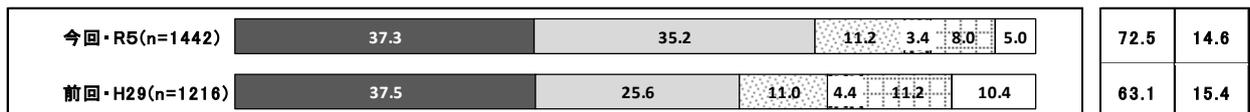
【属性別特徴】

- 性別にみると、男女にあまり大きな差はみられません。
- 年齢別にみると、肯定率は男女とも 80 歳以上で約5割と低くなっていますが、年齢が低くなると増加し、男女とも 60 歳代以下の年齢層では8割前後となっています。

問5-6 訪問診療をしてくれる医師を見つけるのが難しい



【経年比較】



■ とてもそう思う □ やや思う ▨ あまり思わない ▩ まったく思わない □ わからない □ 無回答

(※) 肯定率=「とてもそう思う」+「ややそう思う」 否定率=「まったく思わない」+「あまり思わない」

(7) 訪問看護でどんなことができるのか分からない

「とてもそう思う」は23.8%、「やや思う」は38.3%、合計した肯定率は62.1%となっています。一方、否定率は23.5%（「あまり思わない」18.6%+「まったく思わない」4.9%）となっています。

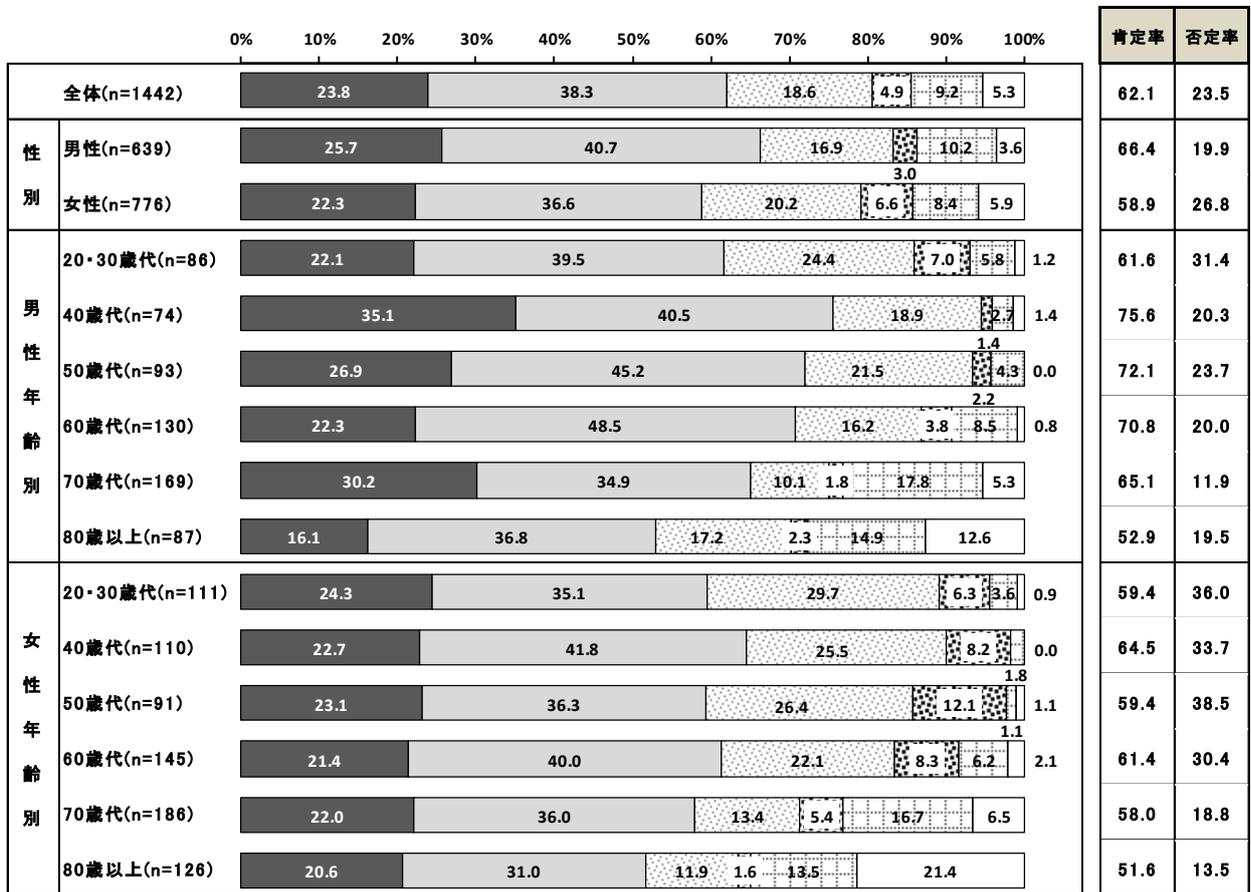
【経年比較】

- 肯定率が54.2%から62.1%に7.9ポイント増加しています。

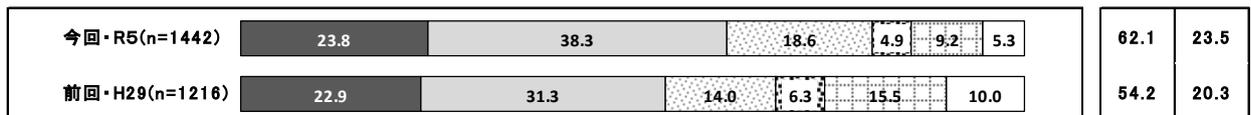
【属性別特徴】

- 性別にみると、肯定率は、男性は66.4%となっていますが、女性は58.9%と、7.5ポイント少なくなっています。
- 年齢別にみると、男女とも顕著な傾向とまではいえませんが、20・30歳代を除くと年齢が低い層で、肯定率が高い傾向がみられます。

問5-7 訪問看護でどんなことができるのか分からない



【経年比較】



■ とてもそう思う □ やや思う ▨ あまり思わない ▩ まったく思わない □ わからない □ 無回答

(※) 肯定率=「とてもそう思う」+「ややそう思う」 否定率=「まったく思わない」+「あまり思わない」

(8) 家族に負担がかかる

「とてもそう思う」は50.0%、「やや思う」は32.1%、合計した肯定率は82.1%となっています。一方、否定率は9.0%（「あまり思わない」7.8%+「まったく思わない」1.2%）となっています。

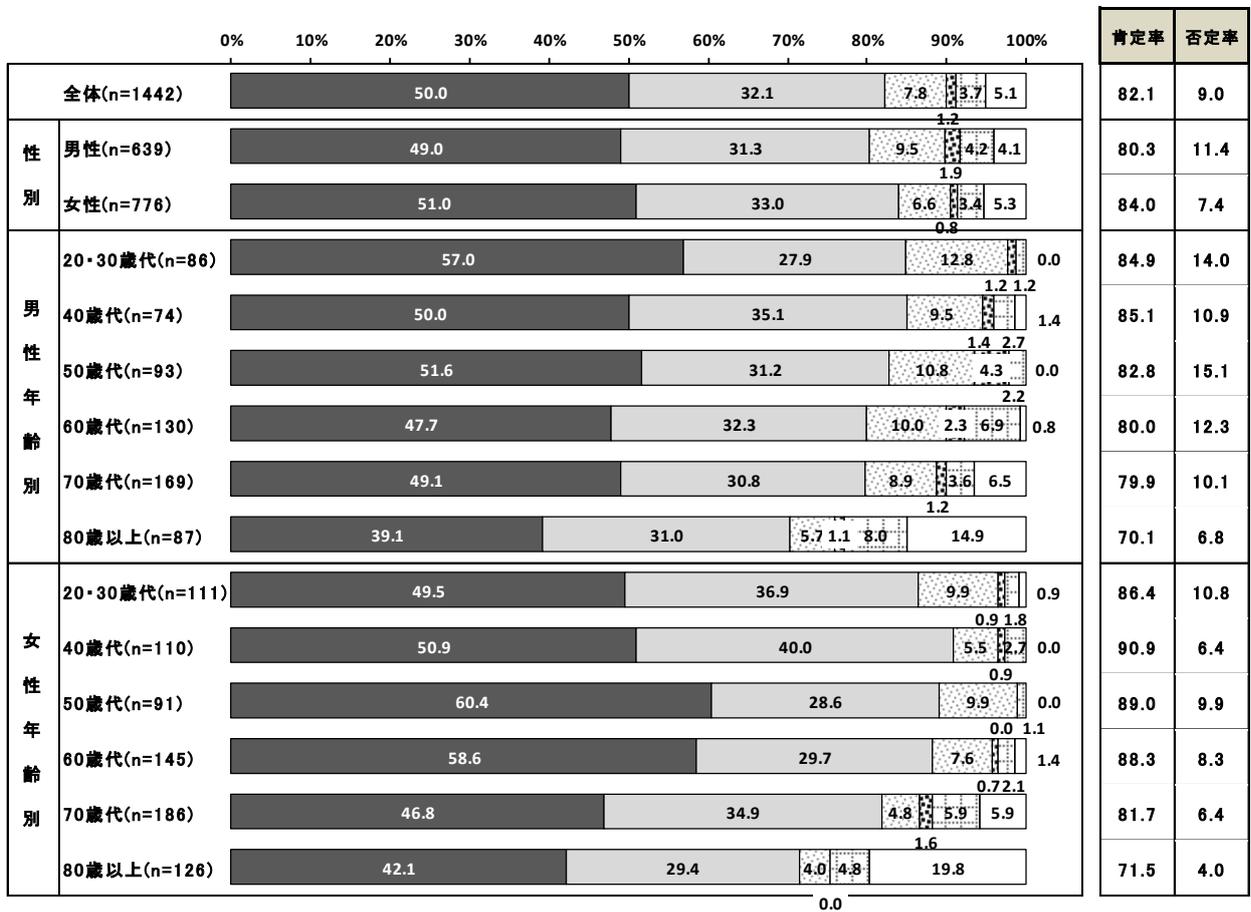
【経年比較】

- 肯定率が70.7%から82.1%に11.4ポイント増加しています。

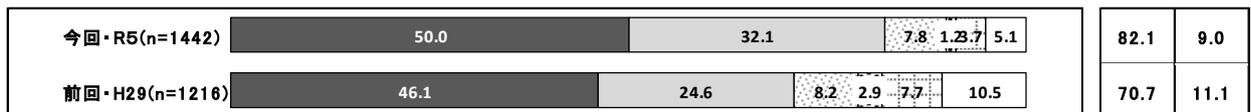
【属性別特徴】

- 性別にみると、大きな差はみられません。
- 年齢別にみると、男女とも20・30歳代を除くと、肯定率は年齢が低いほど肯定率が高くなっており、女性40歳代では9割に達しています。

問5-8 家族に負担がかかる



【経年比較】



■ とてもそう思う □ やや思う ▨ あまり思わない ▩ まったく思わない □ わからない □ 無回答

(※) 肯定率=「とてもそう思う」+「ややそう思う」 否定率=「まったく思わない」+「あまり思わない」

(9) 療養できる部屋や風呂、トイレなど住環境が整っている必要がある

「とてもそう思う」は59.1%、「やや思う」は25.2%、合計した肯定率は84.3%となっています。一方、否定率 7.3%（「あまり思わない」6.5%+「まったく思わない」0.8%）となっています。

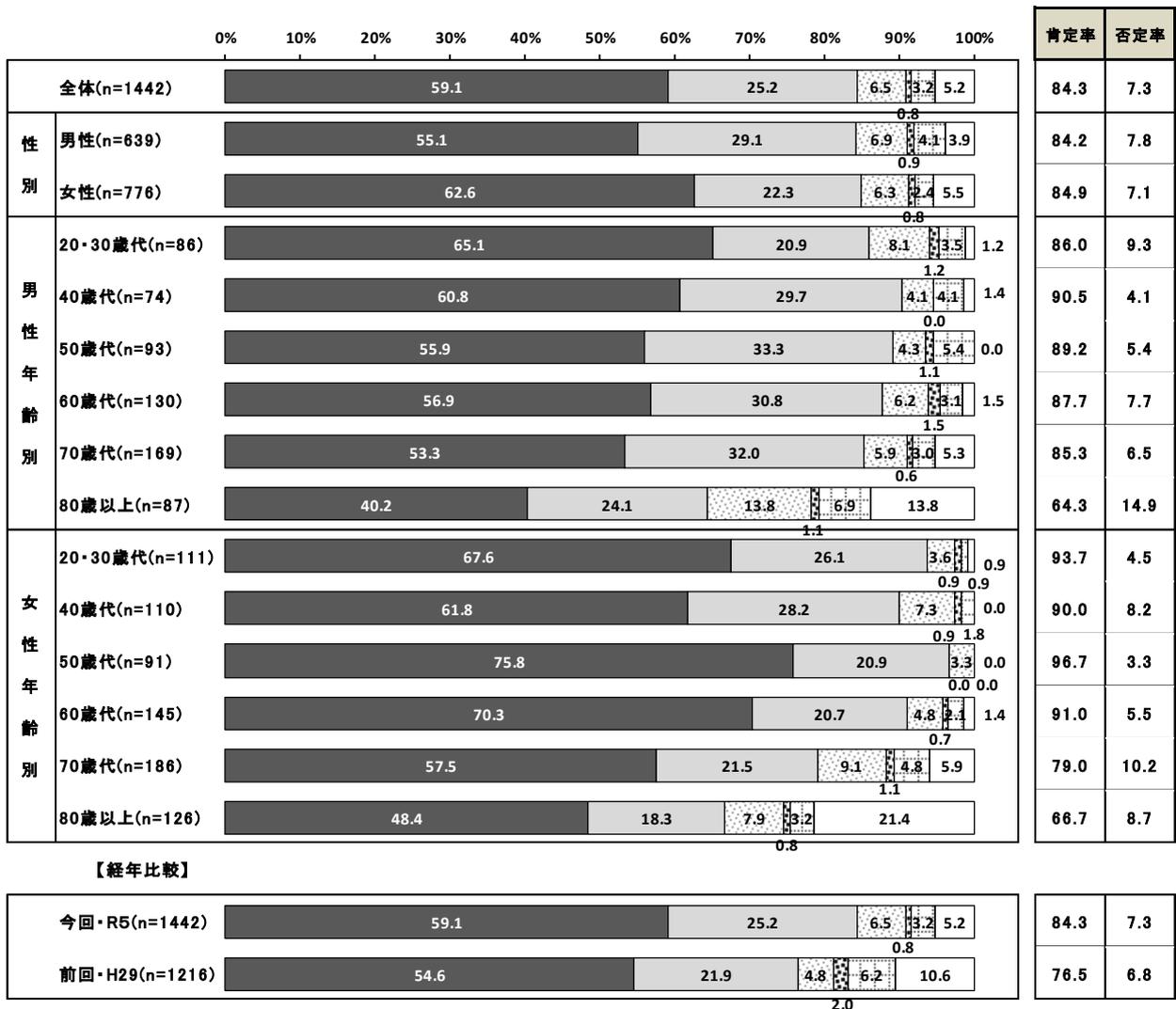
【経年比較】

- 高定率が76.5%から84.3%に7.8ポイント増加しています。

【属性別特徴】

- 性別にみると、男性では「とてもそう思う」が55.1%ですが、女性は62.6%と、男性より7.5ポイント多くなっています。
- 年齢別にみると、男性40歳代、女性60歳代以下で肯定率が9割を超えています。

問5-9 療養できる部屋や風呂、トイレなど住環境が整っている必要がある



■ とてもそう思う □ やや思う □ あまり思わない □ まったく思わない □ わからない □ 無回答

(※) 肯定率=「とてもそう思う」+「ややそう思う」 否定率=「まったく思わない」+「あまり思わない」

(10) 費用が高額になる

「とてもそう思う」は45.1%、「やや思う」は29.2%、合計した肯定率は74.3%となっています。一方、否定率は11.4%（「あまり思わない」10.8%+「まったく思わない」0.6%）となっています。

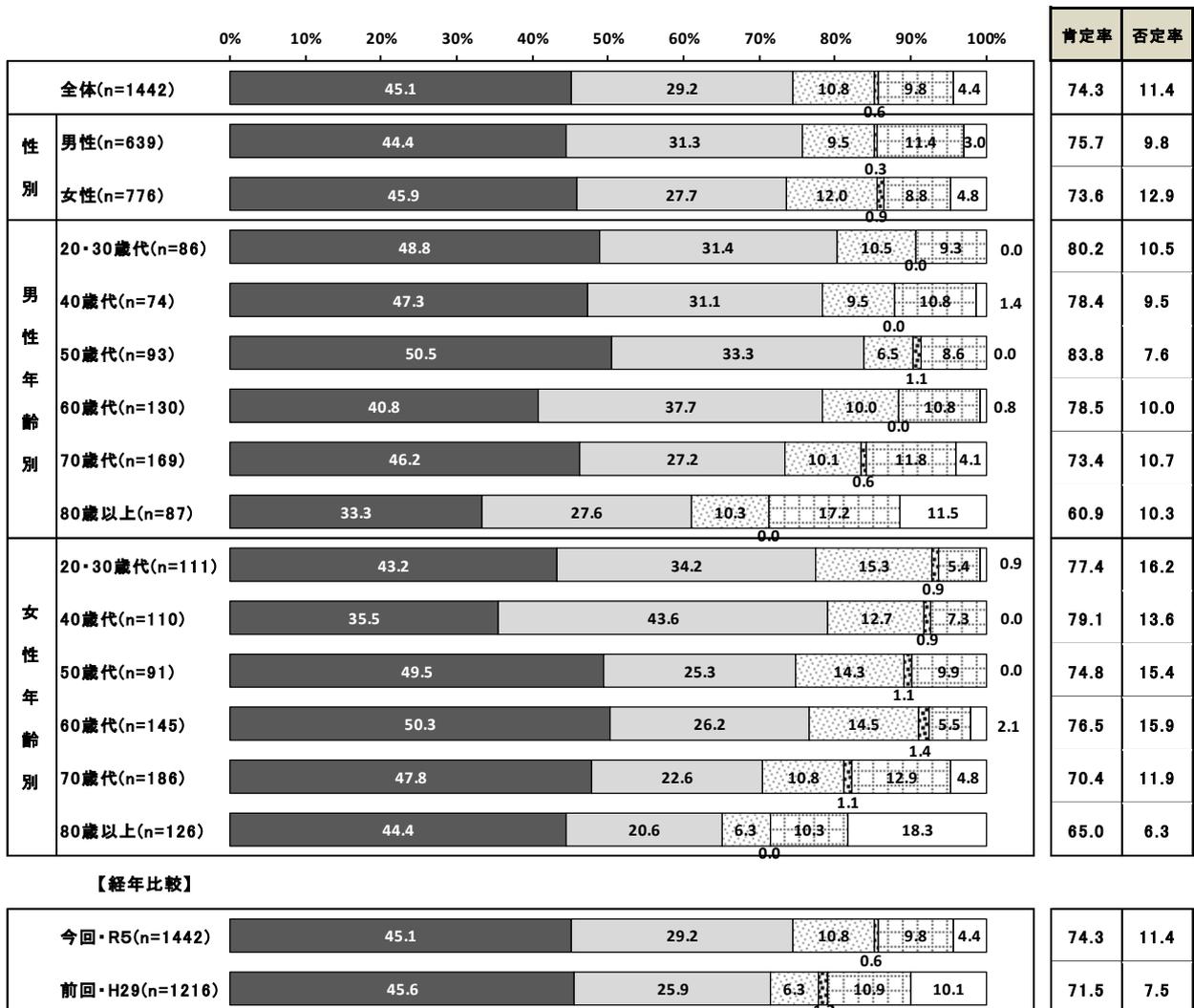
【経年比較】

- 肯定率が71.5%から74.3%へ、2.8ポイント増加しています。

【属性別特徴】

- 性別にみると、男女にあまり大きな差はみられません。
- 年齢別にみると、男性 20・30 歳代、50 歳代で肯定率が8割を超えていますが、女性では8割を超える年齢層はみられません。

問5-10 費用が高額になる



■ とてもそう思う □ やや思う □ あまり思わない □ まったく思わない □ わからない □ 無回答

(※) 肯定率=「とてもそう思う」+「ややそう思う」 否定率=「まったく思わない」+「あまり思わない」

(11) 在宅では満足のいく最期が迎えられない

「とてもそう思う」は10.4%、「やや思う」は20.8%、合計した肯定率は31.2%となっています。一方、否定率は47.3%（「あまり思わない」36.3%+「まったく思わない」11.0%）となっています。  
在宅医療や介護サービスのイメージとしてあげた11項目の中では、唯一否定率が肯定率を上回っています。

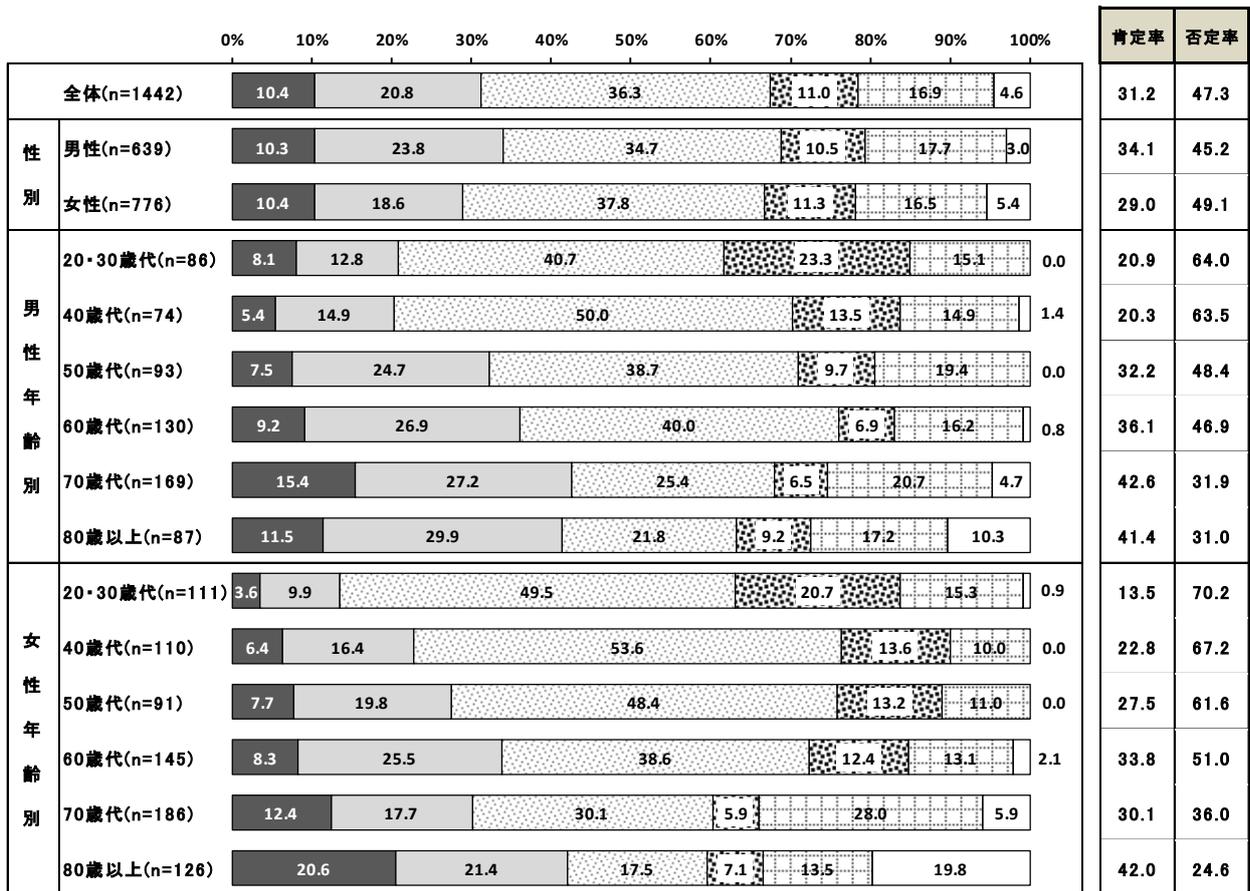
【経年比較】

- 肯定率が33.4%から31.2%に2.2ポイント減少し、否定率が37.5%から47.3%に9.8ポイント増加しています。

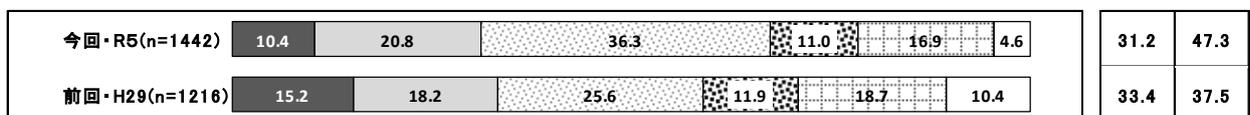
【属性別特徴】

- 性別にみると、肯定率は男性が高く（男性34.1%－女性29.0%）、否定率は女性が高く（男性45.2%－女性49.1%）なっています。
- 年齢別にみると、男女とも、年齢の高いほど肯定率は概ね高く、否定率は年齢の低いほど高くなっています。

問5-11 在宅では満足のいく最期が迎えられない



【経年比較】



■ とてもそう思う □ やや思う ▨ あまり思わない ▩ まったく思わない □ わからない □ 無回答

(※) 肯定率=「とてもそう思う」+「ややそう思う」 否定率=「まったく思わない」+「あまり思わない」

## 6 人生の終末期について

### (1) 最期を迎えたい場所（自分の場合）

病気で治る見込みがなく、およそ1年以内に死に至ると考えたとき、最期を迎えたい場所としては、「自宅」が37.0%と最も多く、次いで「病院などの医療機関」が34.5%となっています。  
また、「わからない」が20.2%となっています。

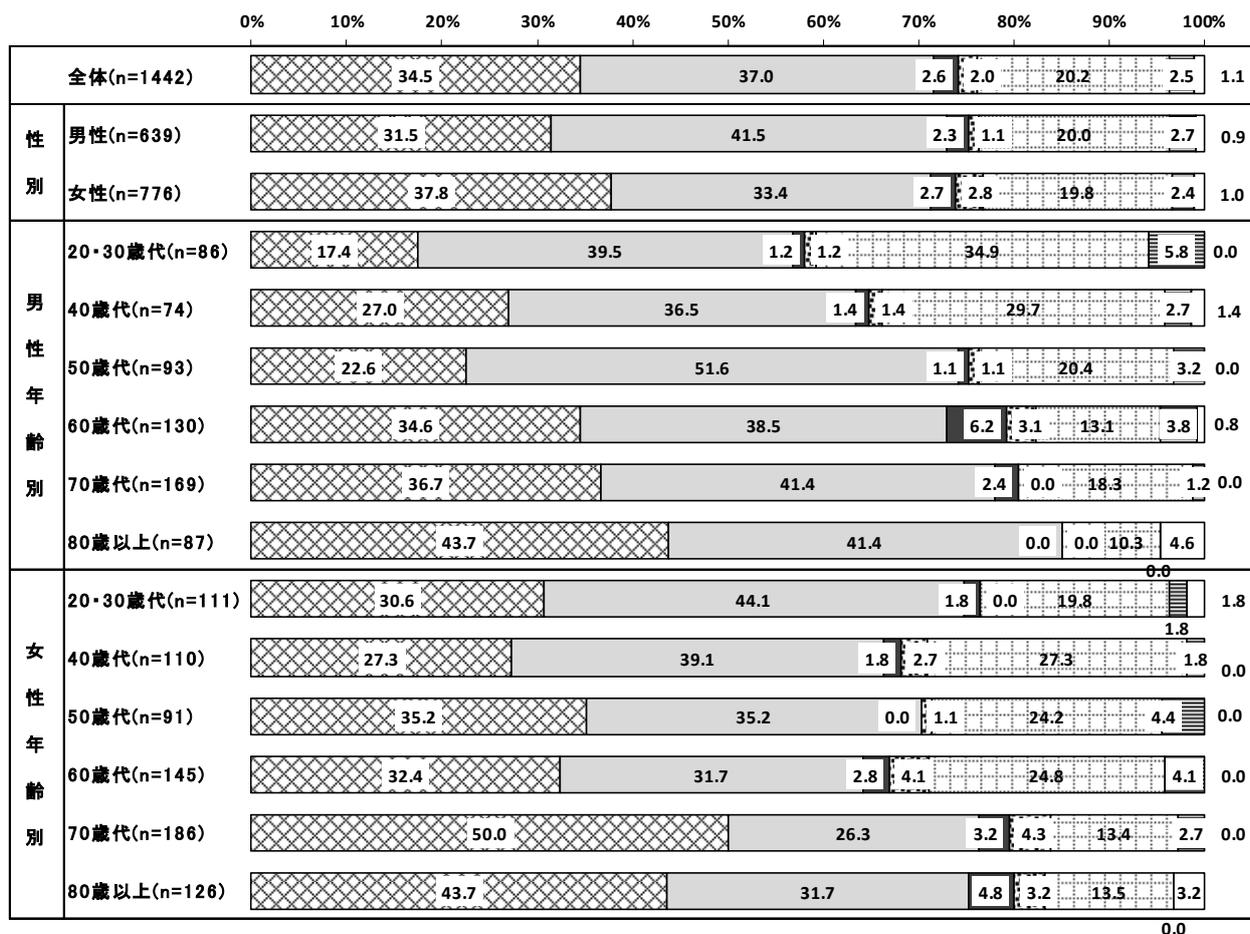
#### 【経年比較】

- 「自宅」が40.5%から37.0%に3.5ポイント減少し、「病院などの医療機関」が31.7%から34.5%に2.8ポイント増加しています。

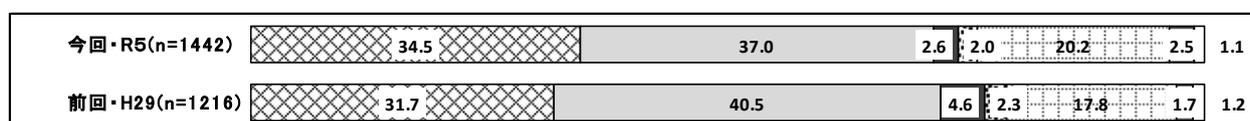
#### 【属性別特徴】

- 性別にみると、男性は「自宅」(41.5%)、女性は「病院などの医療機関」(37.8%)が最も多くなっています。
- 年齢別にみると、男性では年齢が高いほど「病院などの医療機関」が概ね高く、年齢が低いほど「わからない」が多くなっている。女性では40歳代以下では「自宅」が最も多く、40・50歳代は「自宅」と「病院などの医療機関」がほぼ同率、70歳代以上では「病院などの医療機関」が4～5割を占め、最も多くなっています。

問6-1 もし、あなたが、病気で治る見込みがなく、およそ1年以内に死に至ると考えたとき、最期をどこで迎えたいですか。（1つだけ○）



#### 【経年比較】



病院などの医療機関  
 自宅  
 特別養護老人ホームなどの介護施設  
 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅  
 わからない  
 その他  
 無回答

## 《その他の内訳》

- その時になってみないとわからない(4)
- どこでもよい(4)
- ホスピス(4)
- 終末緩和ケア(3)
- できるだけ自宅と思うがそうはいかないので。病院などの医療機関か有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅どうせ死ぬなら自宅がいいが看てくれる人がいない。
- 家族にかかる負担によって考えたい。
- 介護とある程度の医療が受けられる。
- 観光地
- 最後の瞬間に家族と過ごせたらどこでもいい。
- 子どもの近所の介護施設
- 思い出の場所に行く。
- 自然豊かな外国
- 自宅で過ごしたいが家族の負担が大きいと思う。
- 自分の好きな場所
- 体調、周辺状況による。
- 単身世帯で家族もいないので何処で迎えられるか想像できない。
- 貯金はないし、給料も少ないので、老後は在宅サービスは受ける事は出来ないと思っている。

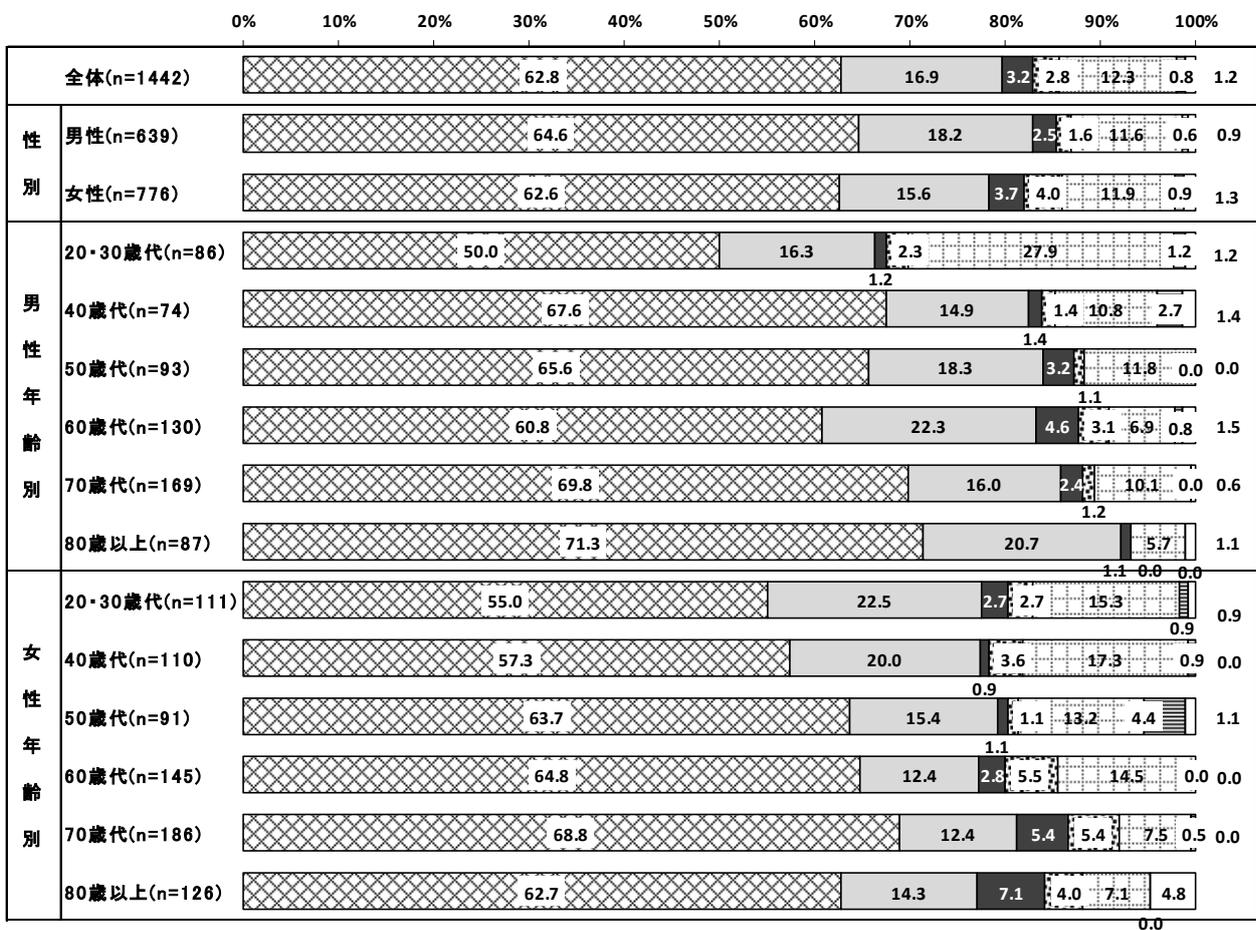
(2) それまでに受けた医療・ケア（自分の場合）

最期を迎えるまでの医療・ケアを受けたい場所としては、「病院などの医療機関」が 62.8%と最も多い。次いで「自宅」が 16.9%となっています。

【属性別特徴】

- 性別にみると、男女とも「病院などの医療機関」が最も多くなっています。
- 年齢別にみると、すべての年齢層で「病院などの医療機関」が最も多くなっていますが、男性の60歳、女性40歳代以下では「自宅」が2割と、他の年齢層に比べて多くなっています。

問6-2 それまでの医療・ケアは主にどこで受けたいですか。（1つだけ〇）



病院など医療機関
  自宅
  特別養護老人ホームなどの介護施設
  有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅
  わからない
  その他
  無回答

《その他の内訳》

- きれいなところ
- グループホーム
- ホスピス
- 自宅もだし、いろいろ成長のため経験したい。
- 状況を家族と相談して考える。
- 病気の種類により考える。
- 病弱や体調による。
- どこでもいい。
- なし・受けない(4)

### (3) 家族が最期を迎えてほしい場所（家族の場合）

家族が、病気で治る見込みがなく、およそ1年以内に死に至ると考えたとき、最期を迎えてほしい場所としては、「病院などの医療機関」が41.7%と最も多く、次いで「自宅」が33.6%となっています。

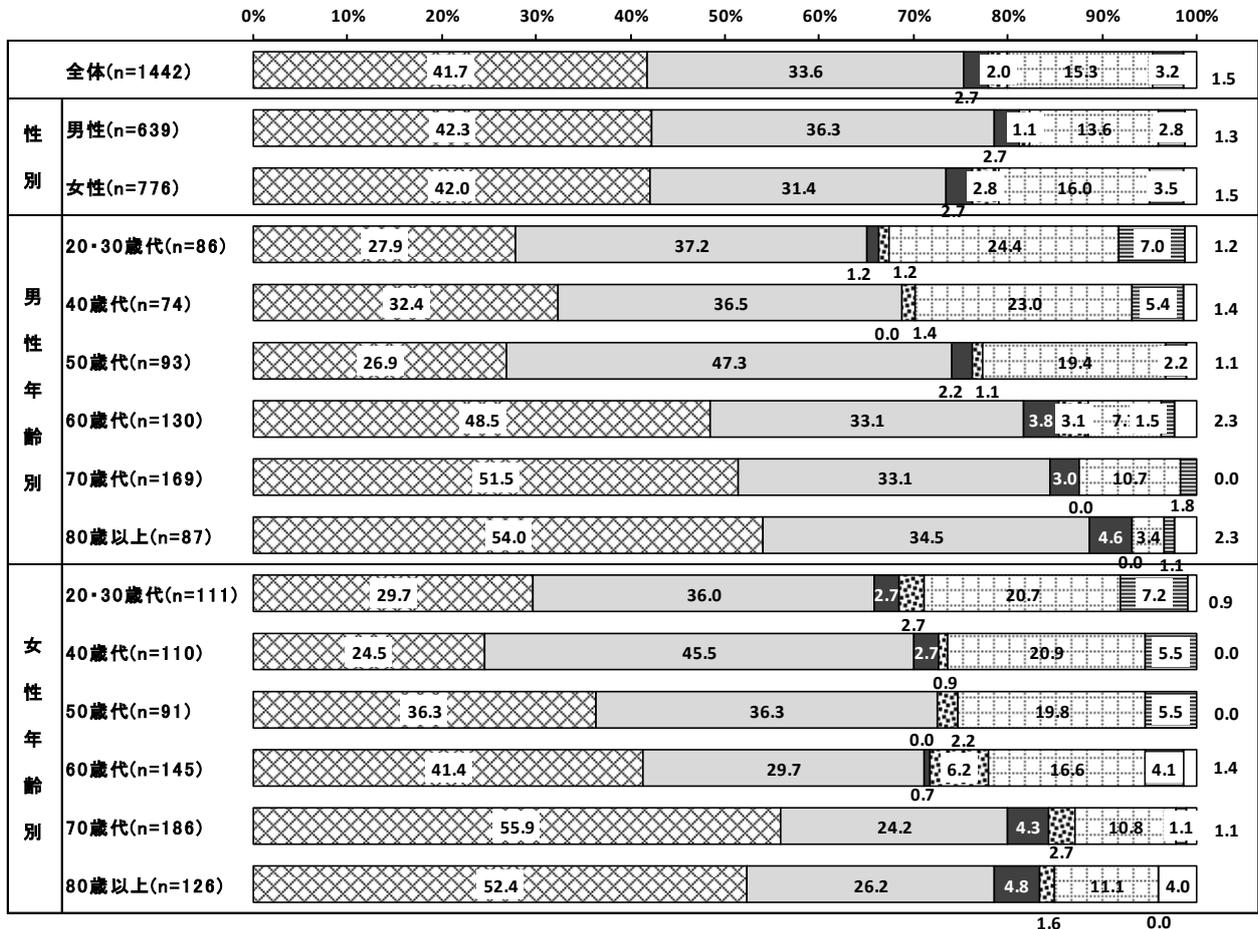
#### 【経年比較】

- 「病院などの医療機関」が33.6%から41.7%に8.1ポイント増加し、「自宅」が39.6%から33.6%に6.0ポイント減少しています。

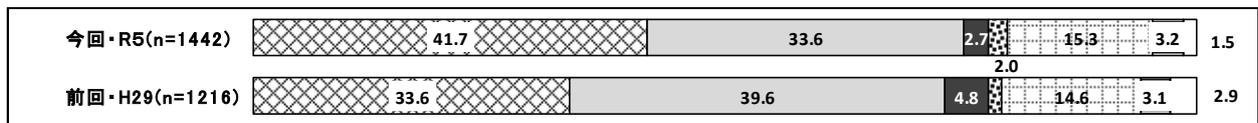
#### 【属性別特徴】

- 性別にみると、男性では「自宅」が36.3%と、女性(31.4%)よりも4.9ポイント多くなっています。
- 年齢別にみると、男性では50歳代以下では「自宅」、60歳代以上では「病院などの医療機関」が最も多くなっています。女性では40歳代以下では「自宅」が最も多く、50歳代では「自宅」と「病院などの医療機関」が半々、60歳代以上では「病院などの医療機関」が最も多くなっています。

問7-1 もし、あなたの家族が、病気で治る見込みがなく、およそ1年以内に死に至ると考えたとき、最期をどこで迎えてほしいですか。（1つだけ○）



#### 【経年比較】



病院などの医療機関
  自宅
  特別養護老人ホームなどの介護施設
  有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅
  わからない
  その他
  無回答

## 《その他の内訳》

- 本人の望む場所(26)
- ホスピス(2)
- 終末緩和ケア(2)
- 安心できる場所
- 家族の過ごしたい場所
- 家族の受け入れ状態によって判断する。
- 自宅で看取りたいが老人一人では無理。
- 自分と血縁関係のある家族は自宅だが義理親は自宅以外がよい。気を遣うので。
- 自分の好きな場所
- 状況を家族と相談して考える。
- 状態に応じて。
- 体がどのくらい動かせるかによる。
- 当人の考えと自分の考えから導きたい。
- 病気の症状で最後の場所を選びたい。
- 夫なら自宅。親なら医療関係。
- 本人の希望を聞いて考え、できるだけ応えたい。ただ、自分自身の体の状態介護力を考えて判断したいと思う。
- 理想はホスピスだが、お金がないので…。私が介護をすると収入が途絶えるので、考えると頭が痛い。

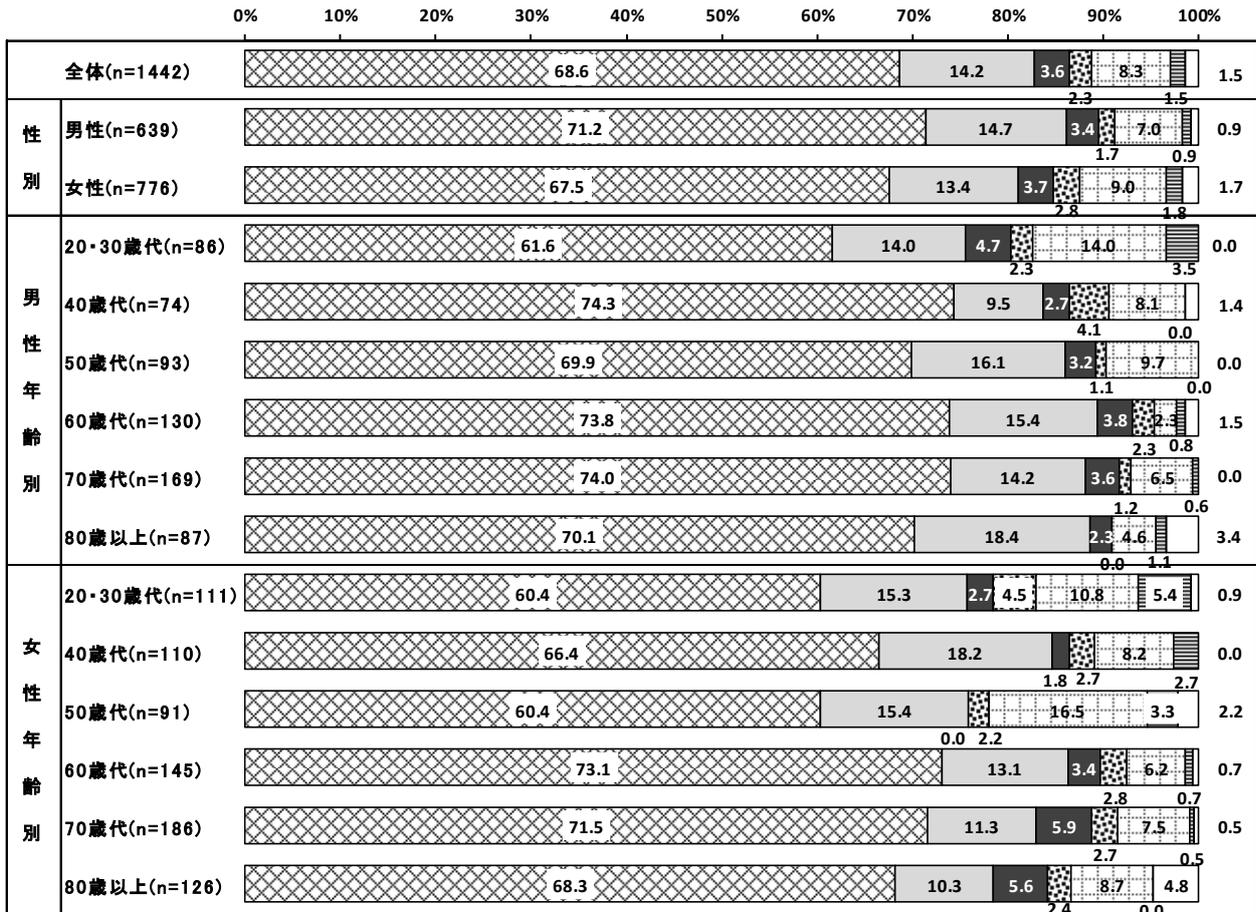
(4) それまでに受けさせたい医療・ケア（家族の場合）

家族の最期まで医療・ケアを受けさせたい場所としては、「病院などの医療機関」が 68.6%と最も多く、次いで「自宅」が 14.2%となっています。

【属性別特徴】

- 性別にみると、男女とも「病院などの医療機関」が最も多くなっています。
- 年齢別にみると、すべての年齢層で「病院などの医療機関」が最も多くなっています。

問7-2 それまでの医療・ケアはどこで受けてほしいですか。（1つだけ○）



病院などの医療機関
  自宅
  特別養護老人ホーム
  有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅
  わからない
  その他
  無回答

《その他の内訳》

- 本人が望む所(15)
- 家族の希望の場所
- 状況を家族と相談して考える。
- 病気の状態による。
- 夫なら自宅。親なら医療関係。
- 本人、家族と話し合いたい。

## (5) 自宅での療養の可能性

自分や家族が自宅で最期まで療養の可能性についてみると、「実現可能である」は 8.8%にとどまり、「実現困難である」が 54.3%と半数を超え、「わからない」が 34.5%となっています。

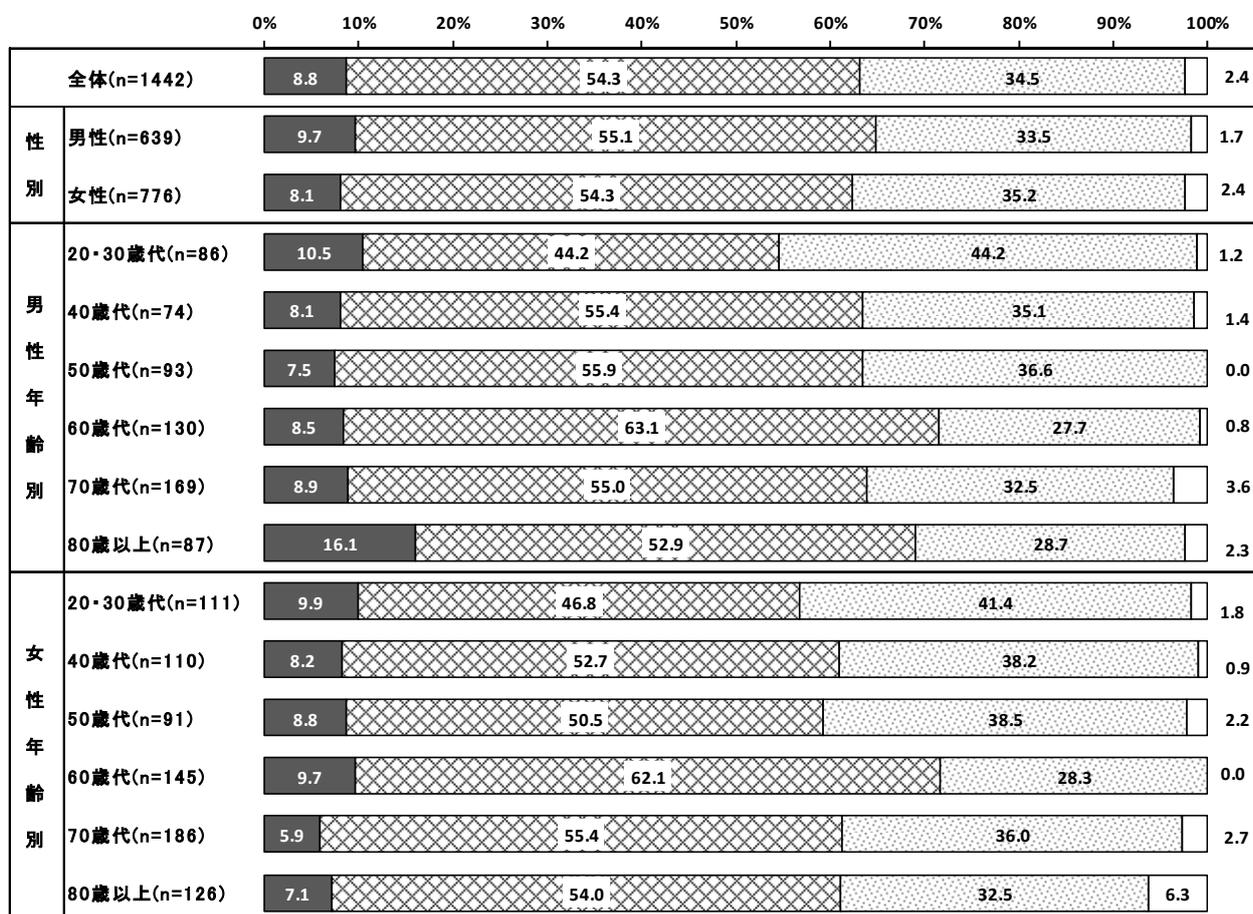
### 【経年比較】

- 前回調査とほぼ同水準で推移しています。

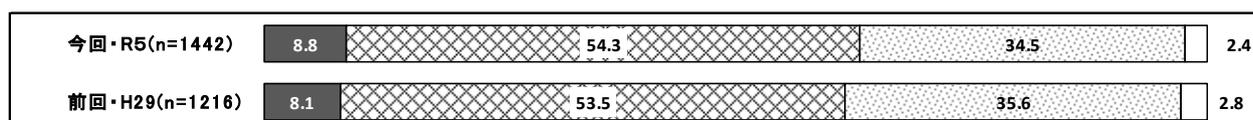
### 【属性別特徴】

- 性別にみると、大きな差はみられません。
- 年齢別にみると、大きな差はみられず、「実現困難である」が最も多くなっています。

問8 自宅において、あなた自身や家族が最期まで療養が可能だと思いますか。(1つだけ○)



### 【経年比較】



■ 実現可能である    ▨ 実現困難である    ▩ わからない    □ 無回答

(6) 実現が困難な理由

実現困難であるとする理由としては、「介護してくれる家族に負担がかかる」が71.6%と圧倒的に多くなっています。次いで「症状が急に悪くなった場合の対応に不安がある」(57.0%)、「居住環境が整っていない」(42.9%)、「経済的に負担が大きい」(42.5%)となっています。

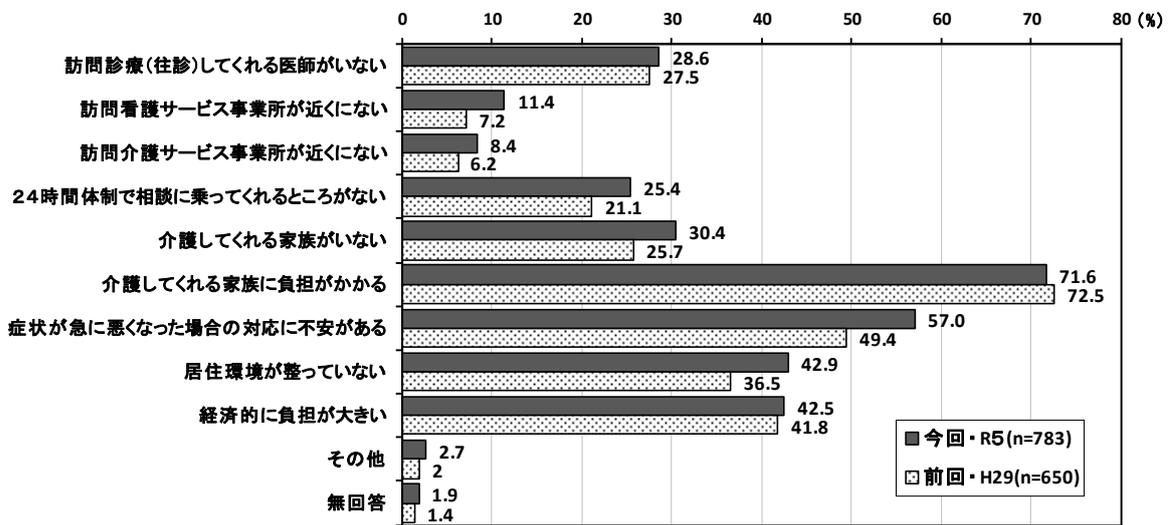
【経年比較】

- 前回調査とほぼ同様の傾向で推移しています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、男女とも50歳代以下では「居住環境が整っていない」、「経済的に負担が大きい」が多くなっています。女性50・60歳代では「介護してくれる家族に負担がかかる」を8割を超える人があげています。

問9 問8で「2 実現困難である」と回答された方にお尋ねします。実現困難であるとする理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



		サンプル数	い な く な る 医 師 が	訪 問 診 療 ( 往 診 )	い し ん が 近 く に な ス	訪 問 看 護 サ ー ビ ス 事 業 所 が 近 く に な ス	い し ん が 近 く に な ス	訪 問 看 護 サ ー ビ ス 事 業 所 が 近 く に な ス	と こ ろ が な く な る 相 手 が な い	2 4 時 間 体 制 で 相 談 に 乗 っ て く れ る と こ ろ が な い	介 護 し て く れ る 家 族 が い な い	介 護 し て く れ る 家 族 に 負 担 が か か る	な ら ば あ ら う な 場 合 に 急 に 悪 く な る こ ろ が あ ら な い	居 住 環 境 が 整 っ て い な い	経 済 的 に 負 担 が 大 き い	そ の 他	無 回 答	
全体	783	28.6	11.4	8.4	25.4	30.4	71.6	57.0	42.9	42.5	2.7	1.9						
性別	男性	352	<b>33.8</b>	11.9	8.2	26.1	26.7	69.9	56.8	38.4	41.8	1.4	2.3					
	女性	421	24.2	10.9	8.6	24.2	33.0	73.6	56.8	46.8	43.0	3.6	1.7					
男性年齢別	20・30歳代	38	23.7	10.5	10.5	7.9	34.2	65.8	<b>63.2</b>	<b>52.6</b>	<b>57.9</b>	2.6	2.6					
	40歳代	41	<b>34.1</b>	12.2	9.8	26.8	29.3	<b>78.0</b>	56.1	<b>53.7</b>	<b>48.8</b>	2.4	2.4					
	50歳代	52	28.8	9.6	3.8	<b>32.7</b>	26.9	73.1	<b>67.3</b>	46.2	<b>59.6</b>	-	3.8					
	60歳代	82	32.9	14.6	9.8	29.3	26.8	69.5	50.0	35.4	25.6	1.2	3.7					
	70歳代	93	<b>36.6</b>	4.3	5.4	24.7	23.7	71.0	53.8	31.2	41.9	-	1.1					
	80歳以上	46	<b>43.5</b>	<b>26.1</b>	13.0	<b>30.4</b>	23.9	60.9	58.7	23.9	30.4	4.3	-					
女性年齢別	20・30歳代	52	25.0	13.5	<b>13.5</b>	19.2	<b>42.3</b>	73.1	<b>65.4</b>	<b>61.5</b>	<b>59.6</b>	-	-					
	40歳代	58	20.7	13.8	12.1	24.1	27.6	69.0	46.6	<b>67.2</b>	<b>62.1</b>	8.6	-					
	50歳代	46	21.7	4.3	2.2	21.7	23.9	<b>82.6</b>	58.7	<b>52.2</b>	<b>47.8</b>	4.3	-					
	60歳代	90	25.6	10.0	6.7	<b>31.1</b>	28.9	<b>82.2</b>	<b>62.2</b>	45.6	45.6	-	2.2					
	70歳代	103	27.2	12.6	9.7	27.2	35.0	71.8	55.3	35.0	33.0	6.8	3.9					
	80歳以上	68	23.5	10.3	7.4	17.6	<b>39.7</b>	63.2	52.9	35.3	23.5	1.5	1.5					

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「無回答」を除く)

## 《その他の内訳》

- その時が来ないと家族があるから。
- 頼りになる息子は昼間仕事です。お嫁さんにお世話になります。娘は足腰悪く通院中です。
- どの程度まで治療が可能であるか。
- 医師の見つけ方がわからない。
- 医師や事業所などは調べてないのでどこにあるのかわからない。
- 家族がいても家族も病気である。
- 家族に負担をかけたくない。
- 現在のかかりつけ医はあと何年現役。今 70 代後半で不安。
- 今は夫婦共々働いているが主人は視力障がいなので心配です。今は元気で施術しています。
- 在宅医療の内容、手続き、費用がわからない。
- 仕事がある。
- 子どもが小さいため。
- 子ども達が遠方のため。
- 真剣になってくれるような医者が今はいないと思う。
- 相手が高齢。体力的に負担がかかる。
- 僻地なので移動に時間がかかる。
- 訪問サービスのサービス環境と事業所等の状況がわからない。
- 訪問診療や訪問看護導入することにより自宅で看取することは可能だと思うが、私自身は自宅で家族を看取りたいという希望がないため。

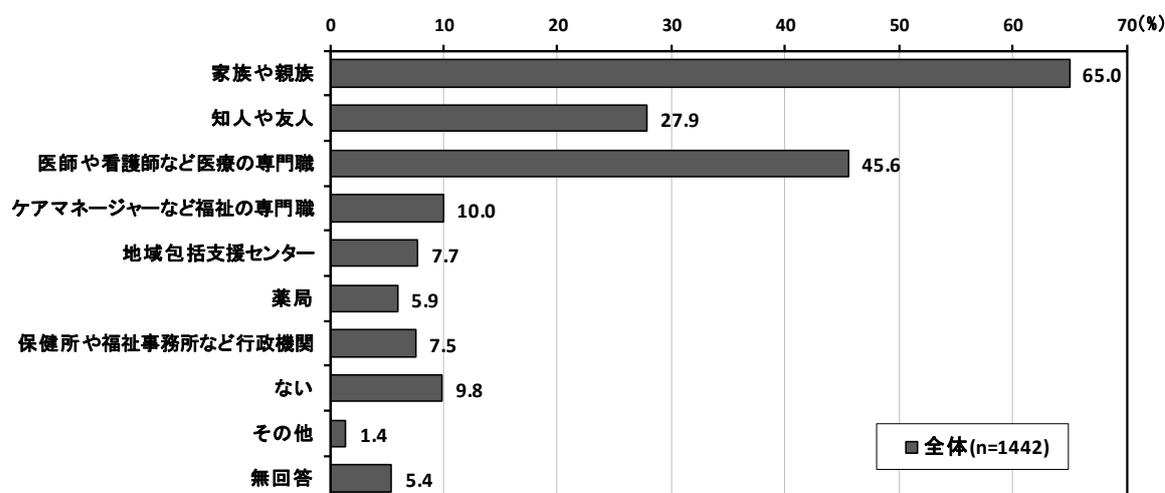
## 7 健康や医療に関する相談先（問10）

健康や医療に関する相談先としては、「家族や親族」が65.0%と最も多くなっています。次いで「医師や看護師などの医療の専門職」(45.6%)、「知人や友人」(27.9%)となっています。

### 【属性別特徴】

- 性別にみると、女性では「知人や友人」(34.4%)が多くなっています。
- 年齢別にみると、男性50歳代以上、女性60歳代以上では「医師や看護師などの医療の専門職」が5割を超えています。また、男性20・30歳代、女性40歳代以下では「家族や親族」が7割を超え、女性60歳代以下では「知人や友人」が他の年齢層よりも多くなっています。

問10 あなたは、健康や医療に関する相談先がありますか。（あてはまるものすべてに○）



		サンプル数	家族や親族	知人や友人	医師や看護師など医療の専門職	ケアマネージャーなど福祉の専門職	地域包括支援センター	薬局	保健所や福祉事務所など行政機関	ない	その他	無回答
全体		1442	65.0	27.9	45.6	10.0	7.7	5.9	7.5	9.8	1.4	5.4
性別	男性	639	60.9	19.7	47.3	7.4	6.7	5.6	7.2	11.4	1.4	5.2
	女性	776	68.8	<b>34.4</b>	44.5	12.2	8.0	6.3	7.9	8.5	1.3	5.3
男性年齢別	20・30歳代	86	<b>74.4</b>	30.2	31.4	8.1	7.0	5.8	10.5	<b>15.1</b>	1.2	2.3
	40歳代	74	62.2	23.0	28.4	1.4	1.4	6.8	5.4	12.2	2.7	5.4
	50歳代	93	59.1	26.9	45.2	10.8	3.2	3.2	9.7	<b>16.1</b>	3.2	3.2
	60歳代	130	59.2	19.2	<b>53.1</b>	5.4	8.5	6.2	5.4	13.1	1.5	4.6
	70歳代	169	52.1	12.4	<b>55.6</b>	6.5	4.7	6.5	5.9	9.5	0.6	5.9
80歳以上	87	67.8	13.8	<b>56.3</b>	12.6	<b>16.1</b>	4.6	8.0	3.4	-	9.2	
女性年齢別	20・30歳代	111	<b>77.5</b>	<b>38.7</b>	40.5	10.8	1.8	4.5	5.4	11.7	0.9	3.6
	40歳代	110	<b>74.5</b>	<b>48.2</b>	29.1	4.5	1.8	8.2	7.3	10.9	0.9	0.9
	50歳代	91	68.1	<b>51.6</b>	37.4	5.5	5.5	4.4	7.7	11.0	4.4	5.5
	60歳代	145	66.2	<b>36.6</b>	44.8	11.7	6.9	6.9	10.3	6.9	-	9.7
	70歳代	186	65.1	26.3	<b>52.2</b>	12.4	11.8	7.5	9.1	9.1	1.6	2.7
80歳以上	126	65.9	16.7	<b>54.0</b>	<b>26.2</b>	<b>15.1</b>	5.6	6.3	3.2	0.8	8.7	

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「無回答」を除く)

## 《その他の内訳》

- インターネット、オープン AI(2)
- オンラインコミュニティ
- かかりつけ医はいるものの信頼関係が構築できておらず話しづらい。
- じっと見ていると仕事だから働いているように思える。
- 職場があるけど、お金がかかるからしない。
- ずっと 38 年間病院、施設で CM や栄養士をしておりましてのでわかっています。
- ドラッグストア
- ほとんど縁がなかったから。個人的相談先が決まっていない。
- 本人達がどれだけ詳しいかによるが、知らないのではわからない所もある。
- 家族、知人に相談のうえ医療機関にかかる。
- 私自身は病院で働いているので職場で相談できる。
- 受診先の医師も忙しく話しかけられない。
- 職場の保健師
- 精神障がい者であるから。
- 福祉系の施設で専門職もいるので職場で相談する。
- 薬剤師
- 現時点ではなんとかできている。受診や買い物。
- 今のところ 2 人とも元気なのでまだわかりません。

## 8 介護サービスの利用に関する相談先（問11）

介護サービスの利用に関する相談先としては、「家族や親族」が55.9%と最も多くなっています。次いで「医師や看護師など医療の専門職」(33.8%)、「知人や友人」(20.6%)、「ケアマネージャーなど福祉の専門職」(20.1%)、「地域包括支援センター」(19.3%)となっています。

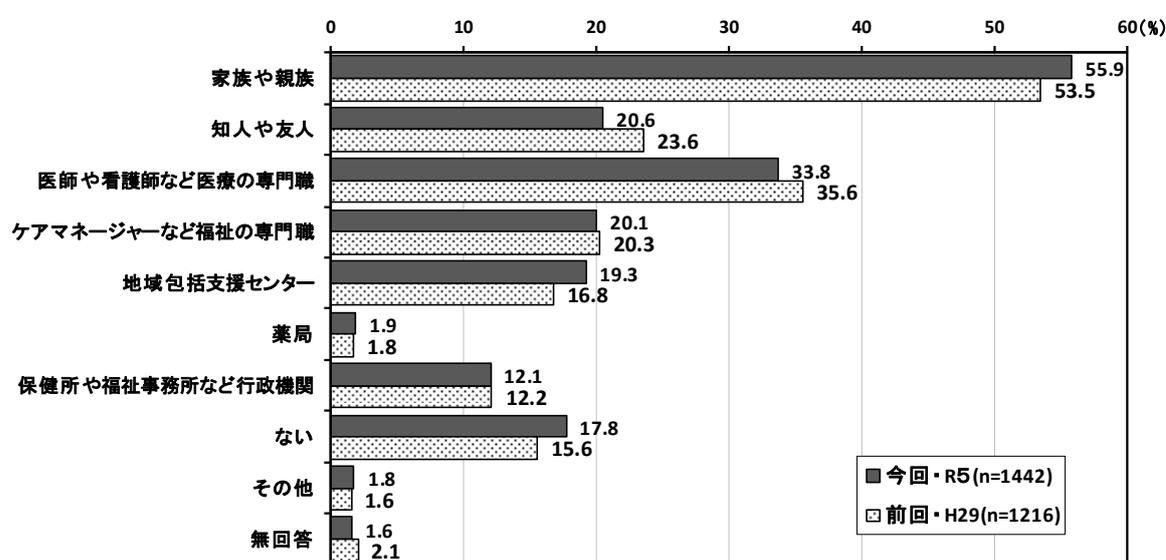
### 【経年比較】

- 前回調査とほぼ同様の傾向で推移しています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、男性60歳代以上、女性70歳代以上では「医師や看護師など医療の専門職」、女性40～60歳代では「知人や友人」が他の年齢層より多くなっている。

問11 あなたの、介護サービスの利用に関する相談先はどこですか。（あてはまるものすべてに○）



		サンプル数	家族や親族	知人や友人	医師や看護師など医療の専門職	ケアマネージャーなど福祉の専門職	地域包括支援センター	薬局	保健所や福祉事務所など行政機関	ない	その他	無回答
全体		1442	55.9	20.6	33.8	20.1	19.3	1.9	12.1	17.8	1.8	1.6
性別	男性	639	56.0	15.5	34.7	16.4	17.5	2.2	11.7	18.5	1.7	0.6
	女性	776	56.7	24.9	33.5	23.2	20.4	1.8	12.2	17.3	1.7	1.9
男性年齢別	20・30歳代	86	55.8	17.4	16.3	11.6	10.5	5.8	14.0	<b>31.4</b>	1.2	-
	40歳代	74	44.6	14.9	17.6	5.4	6.8	-	6.8	<b>35.1</b>	2.7	1.4
	50歳代	93	50.5	<b>25.8</b>	29.0	15.1	9.7	2.2	<b>18.3</b>	21.5	1.1	-
	60歳代	130	56.2	15.4	<b>45.4</b>	18.5	20.8	0.8	6.9	10.0	3.1	0.8
	70歳代	169	56.8	11.8	<b>40.2</b>	16.0	21.9	1.8	14.2	17.2	1.2	0.6
	80歳以上	87	<b>70.1</b>	10.3	<b>47.1</b>	<b>29.9</b>	<b>28.7</b>	3.4	9.2	3.4	1.1	1.1
女性年齢別	20・30歳代	111	39.6	15.3	21.6	14.4	7.2	0.9	9.9	<b>42.3</b>	3.6	0.9
	40歳代	110	54.5	<b>30.0</b>	20.9	14.5	8.2	-	<b>17.3</b>	<b>28.2</b>	1.8	-
	50歳代	91	58.2	<b>37.4</b>	30.8	23.1	22.0	-	14.3	12.1	3.3	-
	60歳代	145	59.3	<b>33.1</b>	31.7	<b>27.6</b>	<b>27.6</b>	3.4	15.2	10.3	-	1.4
	70歳代	186	<b>61.3</b>	<b>26.3</b>	<b>41.9</b>	21.0	23.7	3.2	11.3	11.8	2.2	2.7
	80歳以上	126	<b>62.7</b>	9.5	<b>46.8</b>	<b>35.7</b>	<b>28.6</b>	1.6	7.1	6.3	-	4.8

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「無回答」を除く)

## 《その他の内訳》

- インターネット、オープン AI、オンラインコミュニティ(3)
- 病院のソーシャルワーカー
- 職場
- 職場の保健師
- 最初のとっかかりは地域包括センターと知識上では理解している。
- 包括支援センターに勤務中です。大変ですね。自分だったらこういう支援を受けたいと頑張っています。
- 老健のデイケア施設に勤務しているので、職場の同僚や先輩などに聞く事が出来るから。
- 相談先はわかるがまだ私自身はその必要性を感じていない。
- 介護保険の範囲内なら制度上、相談先はケアマネなど限られていると思います。制度外のサービス、負担金も含めた相談のことを尋ねているのでしょうか？
- 今は何も出来ず。介護が必要になってみないとわからない。
- 介護経験なし。
- 現在介護サービスを利用する状況にない。
- まだ介護される状況ではないのでわからない。
- まだ現実味がない。
- まだ必要性がないので考えていない。
- 現時点で不明。
- 今のところ考えていません(2)
- わからない。

## 9 在宅医療や介護サービスに関して知りたいこと（問12）

在宅医療や介護サービスに関して知りたいこととしては、「医療機関や医師が対応可能な疾患・専門分野」が66.8%と最も多くなっています。次いで「健康保険や医療費について」(57.8%)、「訪問診療や訪問看護、訪問介護(ヘルパー)などの在宅サービスの内容」(57.3%)、「在宅医療や介護サービスについての総合相談窓口」(50.0%)、「在宅医療や介護サービスに関する手続き方法」(47.4%)となっています。

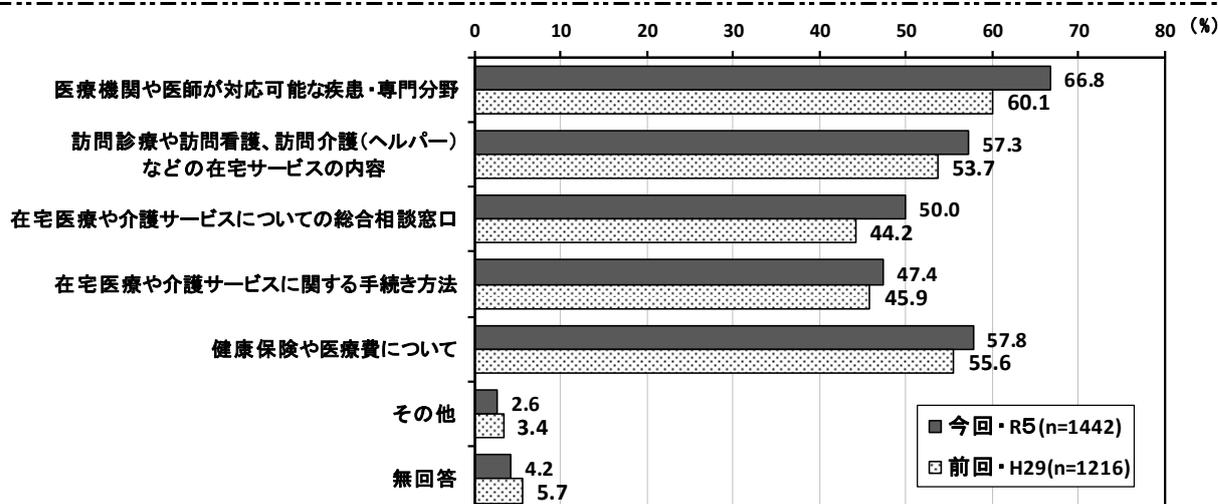
### 【経年比較】

- 前回調査とほぼ同様の傾向で推移しています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、男性40歳代、80歳以上、女性40・50歳代では「医療機関や医師が対応可能な疾患・専門分野」、女性40歳代以下では「健康保険や医療費について」が7割を超えている。

問12 あなたが、在宅医療や介護サービスに関して知りたいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



		サンプル数	医療機関や医師が対応可能な疾患・専門分野	訪問診療や訪問看護、訪問介護(ヘルパー)などの在宅サービスの内容	総合相談窓口	在宅医療や介護サービスに関する手続き方法	健康保険や医療費について	その他	無回答
全体		1442	66.8	57.3	50.0	47.4	57.8	2.6	4.2
性別	男性	639	68.7	58.2	49.3	46.5	54.9	2.2	2.8
	女性	776	65.9	56.7	50.6	47.7	60.4	2.6	4.8
男性年齢別	20・30歳代	86	65.1	53.5	44.2	46.5	60.5	3.5	-
	40歳代	74	71.6	<b>64.9</b>	<b>66.2</b>	48.6	62.2	4.1	5.4
	50歳代	93	69.9	59.1	52.7	51.6	<b>66.7</b>	4.3	4.3
	60歳代	130	65.4	56.9	51.5	46.9	57.7	2.3	2.3
	70歳代	169	68.6	57.4	41.4	40.8	49.1	-	2.4
	80歳以上	87	<b>73.6</b>	59.8	48.3	49.4	37.9	1.1	3.4
女性年齢別	20・30歳代	111	64.9	59.5	<b>59.5</b>	<b>59.5</b>	<b>79.3</b>	2.7	0.9
	40歳代	110	<b>71.8</b>	<b>62.7</b>	51.8	50.0	<b>77.3</b>	6.4	1.8
	50歳代	91	70.3	<b>64.8</b>	52.7	44.0	60.4	1.1	2.2
	60歳代	145	69.0	62.1	<b>57.2</b>	48.3	60.7	1.4	4.8
	70歳代	186	64.0	53.8	48.9	49.5	55.9	1.1	5.4
	80歳以上	126	58.7	42.9	38.1	35.7	38.1	4.0	11.1

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「無回答」を除く)

### 《その他の内訳》

- 今は必要ない・特にない(8)
- 一応すべての内容は理解しているつもりですので。
- 大体わかる。
- 利用したことがあり、わかっていることが多い。
- SNS系ネットでの相談
- すでに両親が在宅医療や介護サービスを利用しているので。
- 今、訪問診療を受けています。
- 主人が訪問介護を受けています。
- 現在訪問診療のクリニックで働いている。
- 利益目的だけでなく人の気持ちを思える所をお願いしたい。金額も気になる。
- 家でも何かと忙しいのでまだいい。
- 現在はサービスを受けていないが近いうちに必要になるかも。
- 今はないがその都度ケアマネさんに聞いている。
- 困りごとが起きた時の相談所。その都度対応してくれる所。
- 在宅医療は不可能だから。
- 在宅医療やサービスの受けられるエリア
- 単身世帯が受ける場合どうすればよいか(死後の処置を含みます)。
- 訪問してくれる方がどのような方か知りたい。
- 老人ホームに入りたい。
- まだ自分のこととして考えていない。

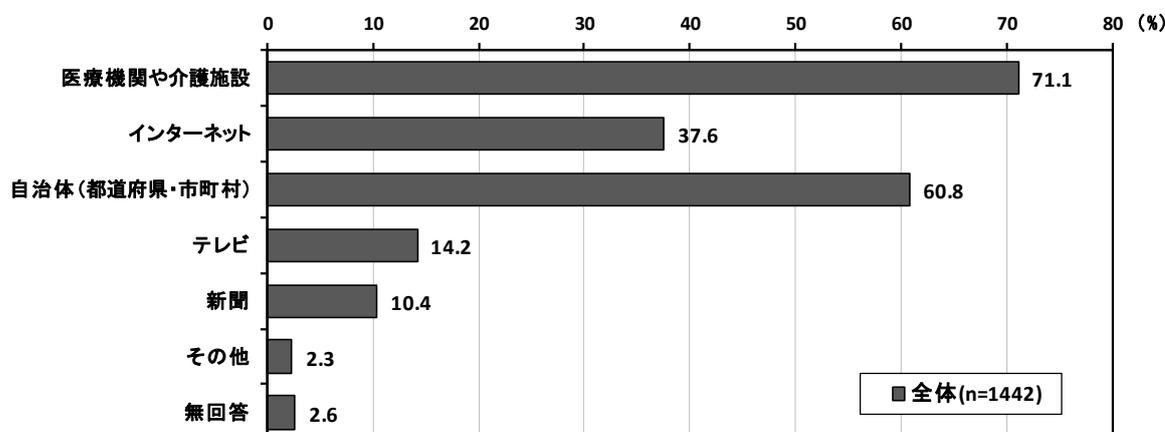
## 10 在宅医療や介護サービスに関する情報源（問13）

在宅医療や介護サービスに関する情報源としては、「医療機関や介護施設」が71.1%と最も多くなっています。次いで「自治体(都道府県・市町村)」(60.8%)、「インターネット」(37.6%)となっています。

### 【属性別特徴】

- 性別にみると、大きな差はみられません。
- 年齢別にみると、「インターネット」は年齢が低いほど多く、中でも男性20・30歳代、女性40歳代以下では7割を超えています。また、「自治体(都道府県・市町村)」は女性40・50歳代、「医療機関や介護施設」は男性70歳代以上、女性60歳代で7割を超えています。

問13 あなたは、在宅医療や介護サービスに関してどのような情報源から情報を得たいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



		サンプル数	医療機関や介護施設	インターネット	自治体(都道府県・市町村)	テレビ	新聞	その他	無回答
全体		1442	71.1	37.6	60.8	14.2	10.4	2.3	2.6
性別	男性	639	70.4	40.1	58.2	10.8	9.5	1.9	2.0
	女性	776	71.9	35.8	63.5	17.0	11.2	2.4	2.4
男性年齢別	20・30歳代	86	59.3	<b>76.7</b>	53.5	14.0	4.7	1.2	-
	40歳代	74	56.8	<b>68.9</b>	62.2	13.5	9.5	1.4	2.7
	50歳代	93	71.0	<b>57.0</b>	63.4	10.8	4.3	3.2	1.1
	60歳代	130	70.0	40.0	60.8	10.8	7.7	0.8	2.3
	70歳代	169	<b>76.9</b>	17.2	55.0	8.3	11.8	1.2	1.8
	80歳以上	87	<b>80.5</b>	5.7	56.3	10.3	<b>18.4</b>	4.6	4.6
女性年齢別	20・30歳代	111	69.4	<b>71.2</b>	55.0	17.1	5.4	3.6	0.9
	40歳代	110	64.5	<b>73.6</b>	<b>73.6</b>	15.5	7.3	2.7	-
	50歳代	91	68.1	<b>54.9</b>	<b>72.5</b>	15.4	6.6	3.3	1.1
	60歳代	145	<b>77.2</b>	27.6	<b>66.2</b>	14.5	10.3	2.8	2.1
	70歳代	186	74.7	11.8	63.4	<b>22.0</b>	<b>18.3</b>	1.6	2.7
	80歳以上	126	73.8	4.8	53.2	15.1	14.3	1.6	6.3

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「無回答」を除く)

### 《その他の内訳》

- SNS、オープン AI、自治体のインターネット(3)
- チラシ・パンフレット等(2)
- ケアマネジャー(2)
- 地域包括支援センター(2)
- サポートセンター、総合相談窓口(2)
- 友人、知人(2)
- 既にあるかもしれませんが、病院にあるパンフレット。
- 情報源がないし強いて言えば自治体。
- 職場
- 職場が介護なので情報はある。
- 家族
- 家族が在宅医療などの経験がある知人などに聞いてみたい。
- 市報
- 施設ごとに本当にいくらかかるか出すべきだ。
- 人により性格が違うので誰に聞けばよいかわからない。
- 大体わかる。

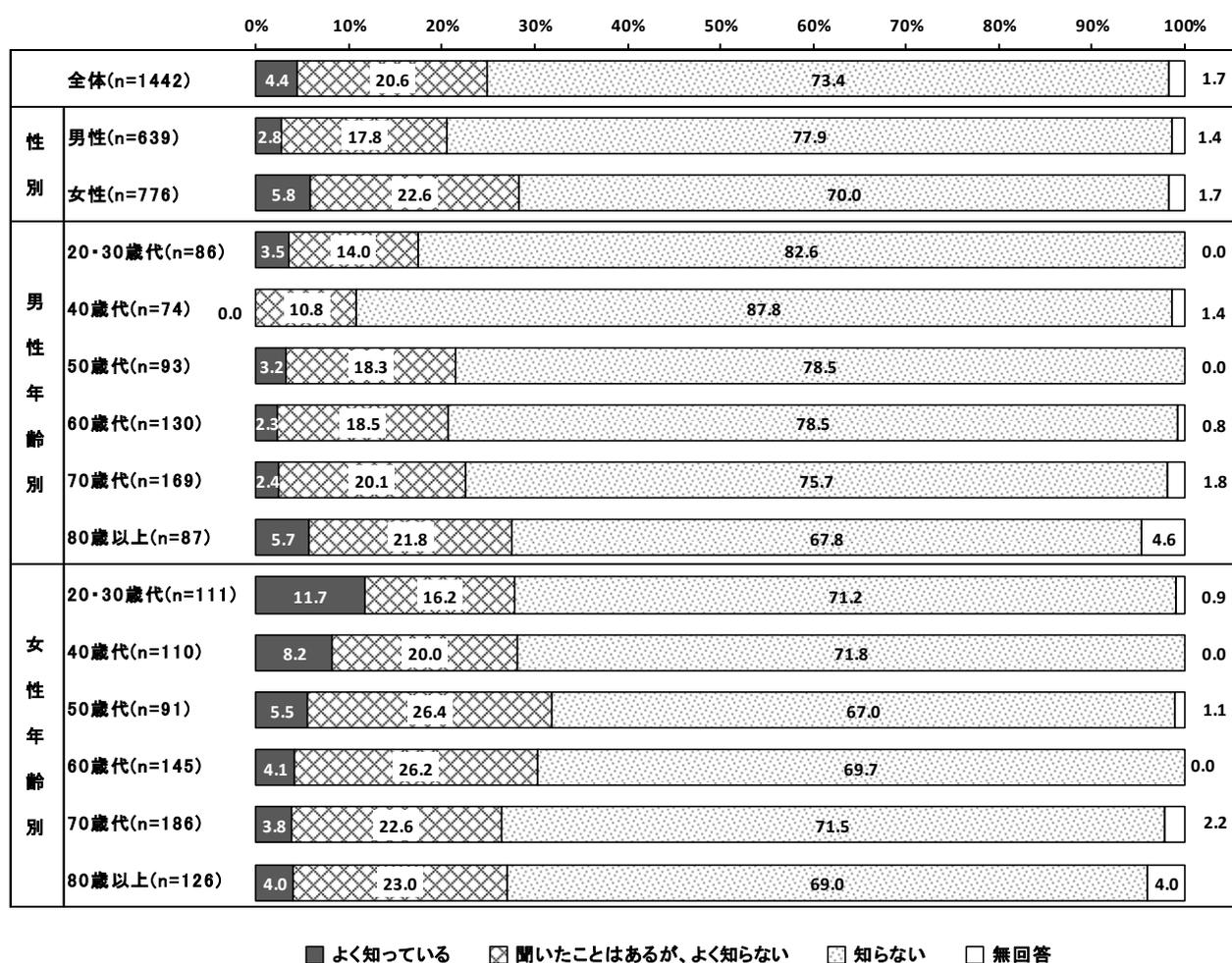
## 11 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について（問14）

「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」については、「よく知っている」は4.4%にとどまり、「聞いたことがあるが、よく知らない」が20.6%、「知らない」が73.4%となっている。

### 【属性別特徴】

- 性別にみると、男性よりも女性の方が「よく知っている」（女性 5.8%－男性 2.8%）、「聞いたことがあるが、よく知らない」（女性 22.6%－男性 17.8%）が多くなっています。
- 年齢別にみると、女性では年齢が低いほど「よく知っている」が多くなっています。

問14 あなたは、「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」について、これまで知っていましたか？（1つだけ○）



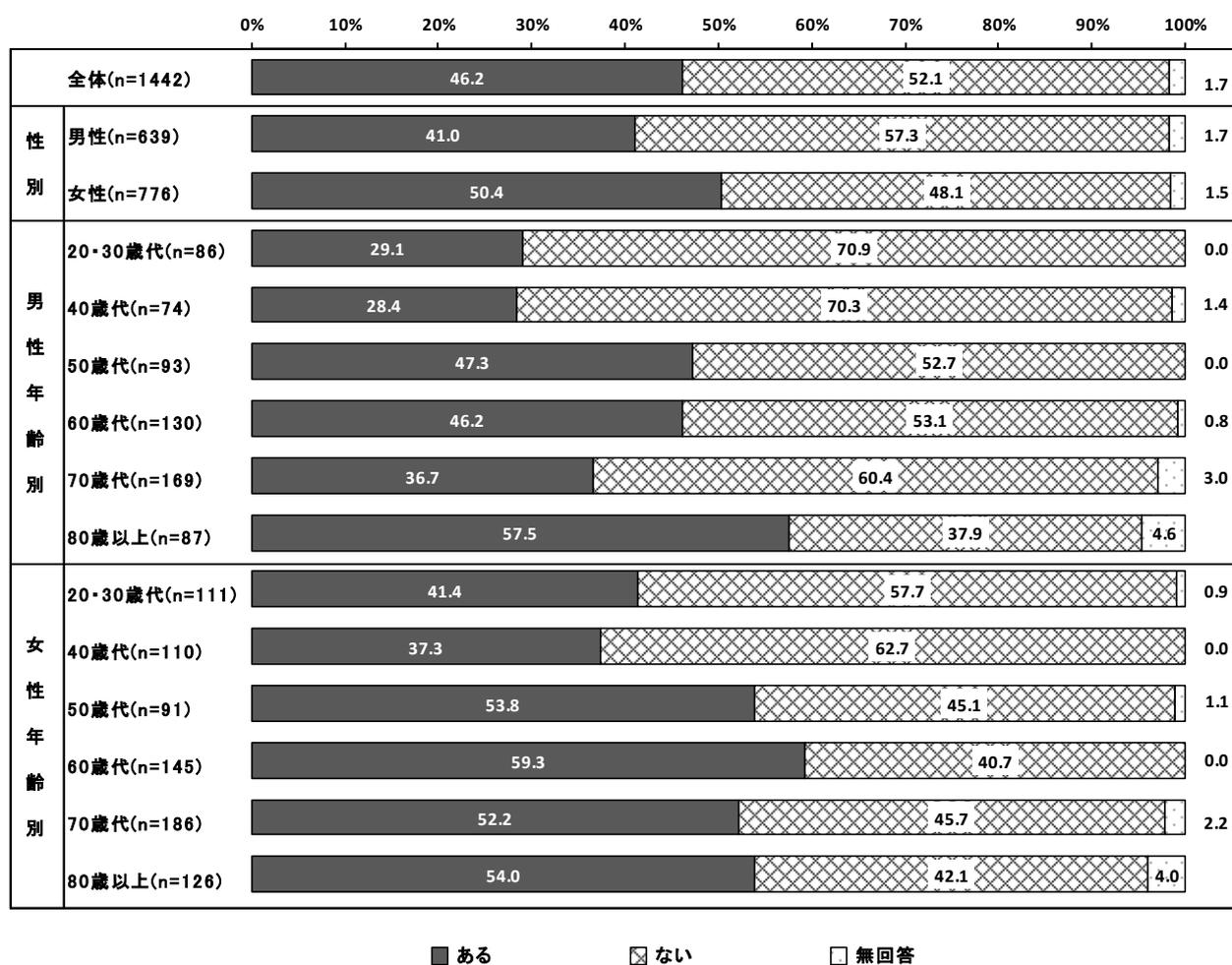
## 12 自身や家族が望む医療ケア等について考えたこと（問 15）

自身や家族の望む医療やケア等について、これまでに考えたことがある経験については、「ある」が46.2%、「ない」が52.1%となっています。

### 【属性別特徴】

- 性別みると、女性では「ある」が50.4%となっていますが、男性では41.0%、女性よりも9.4ポイント少なくなっています。
- 年齢別にみると、男女とも40歳代以下で「ある」の割合が少なくなっています。

問15 あなたは、ご自身やご家族の望む医療やケア等について、これまでに考えたことがありますか。（1つだけ○）



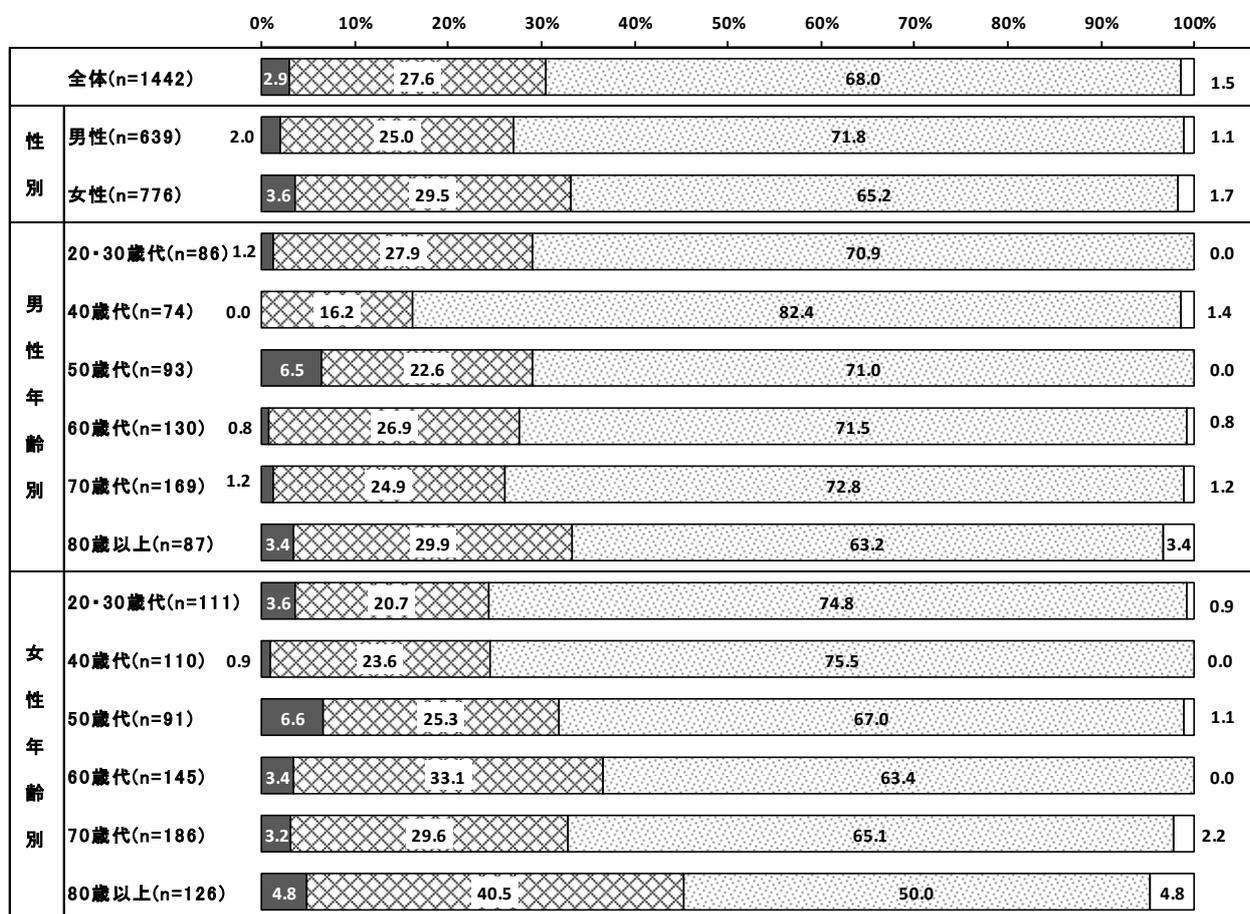
### 13 自身や家族が望む医療ケア等について話し合ったこと（問16）

自身や家族の望む医療やケア等について、家族等や医療・介護従事者と詳しく話し合っているかどうかについては、「詳しく話し合っている」は2.9%にとどまり、「一応話し合っている」が27.6%、「話し合ったことはない」が68.0%となっています。

#### 【属性別特徴】

- 性別にみると、男性よりも女性の方が「話し合っている」(女性 3.6%－男性 2.0%)、「一応話し合っている」(女性 29.5%－男性 25.0%)が多くなっています。

問16 あなたは、ご自身やご家族の望む医療やケア等について、ご家族等や医療・介護従事者と詳しく話し合っていると思いますか。（1つだけ○）



■ 詳しく話し合っている    ▨ 一応話し合っている    ▩ 話し合ったことはない    □ 無回答

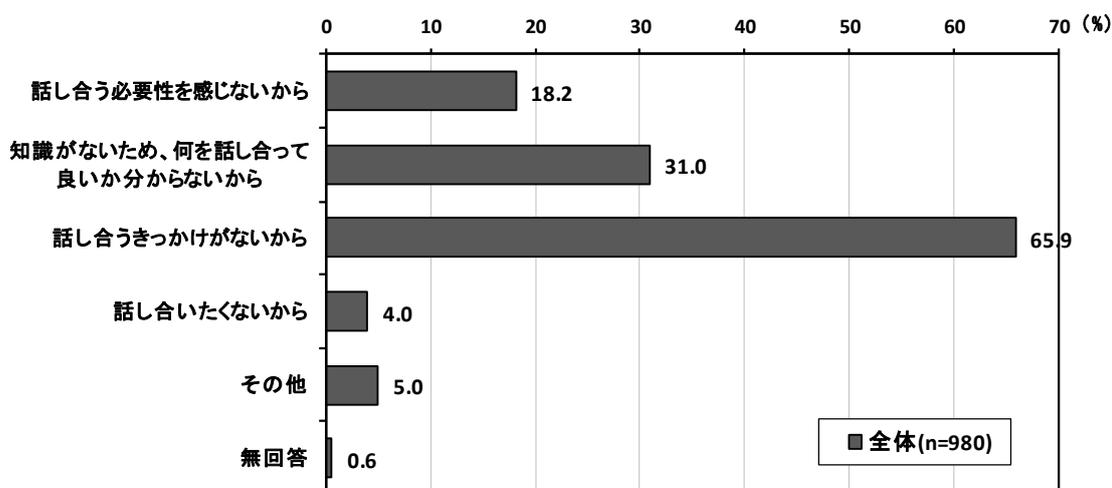
## 14 話し合ったことがない理由 (問17)

自身や家族の望む医療やケア等について、家族等や医療・介護従事者と詳しく話し合ったことがない理由としては、「話し合うきっかけがないから」が65.9%と最も多くなっています。次いで「知識がないため、何を話し合っただけで良いかわからないから」(31.0%)、「話し合う必要性を感じないから」(18.2%)となっています。

### 【属性別特徴】

● ○

問17 問16で「話し合ったことはない」と答えた方は、その理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)



		サンプル数	話し合う必要性を感じないから	知識がないため、何を話し合っただけで良いかわからないから	話し合うきっかけがないから	話し合いたくないから	その他	無回答
全体		980	18.2	31.0	65.9	4.0	5.0	0.6
性別	男性	459	22.0	31.2	63.6	4.4	5.2	0.2
	女性	506	15.2	31.0	68.6	3.6	4.3	0.8
男性年齢別	20・30歳代	61	16.4	23.0	<b>72.1</b>	3.3	8.2	-
	40歳代	61	11.5	34.4	68.9	8.2	3.3	-
	50歳代	66	15.2	<b>43.9</b>	65.2	3.0	3.0	-
	60歳代	93	22.6	22.6	57.0	5.4	8.6	-
	70歳代	123	<b>33.3</b>	31.7	59.3	4.1	3.3	-
	80歳以上	55	21.8	34.5	67.3	1.8	5.5	1.8
女性年齢別	20・30歳代	83	13.3	30.1	<b>78.3</b>	2.4	2.4	1.2
	40歳代	83	12.0	26.5	68.7	7.2	3.6	-
	50歳代	61	8.2	23.0	<b>75.4</b>	4.9	4.9	-
	60歳代	92	18.5	32.6	67.4	1.1	6.5	-
	70歳代	121	22.3	31.4	61.2	2.5	5.0	1.7
	80歳以上	63	11.1	<b>41.3</b>	66.7	4.8	3.2	1.6

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「無回答」を除く)

## 《その他の内訳》

- まだ若い・その歳ではない・健康・元気等(15)
- 家族がいない・単身だから(3)
- 話し合う人がいない(2)
- まだ平均寿命からいけばまだ先があるので考えてない。
- いつでも身近に相談、話し合える方々、機関があるため。
- 幸い大きな病気もなく過ごしてきましたが、これからの課題だなど思いました。
- どうにか一人で生活ができています。
- 医療、介護の方々は忙しすぎて余命宣告されない限り話をしにくい。
- 現在健康で実母の介護をしている。
- 必要性を感じていますが、先延ばしにしていました。
- 家族が今いっぱい、いっぱいなので、先のことと思っている様子がある。
- まだあまり聞きたくないと子どもが思っているように思います。
- 現在はその必要性を感じていないし、知識もありません。
- 現状話し合う必要がまだないから。
- もうしばらくして話し合うつもり。
- 現役で働かなくてはならない。
- 今は子育て中で毎日の生活に追われている為、考える余裕がないから。
- 子ども女房は25～26年前ぐらいに死別して話し合う家族がいない。
- 自分たち夫婦の事はまだ若いので考えていない。別居の両親からはどちらかが死んだら施設に  
いれてくれといわれている。ただ、高齢者でも健康で一人暮らしが可能な人が施設に入居出来る  
のかは疑問に思っている。
- 親の死を子どもは認めたくないようです。
- 人生会議を知らなかった。
- 独り身で今までかかりつけ医となるほど病院に縁がなかったため。
- 母親が教えてくれたりするが、すべて理解が出来ない。
- 話し合っているほどではない。話した事は何度かある。
- 話合いができない。場がない。
- どこに行けばよいのか。
- 機会がない。

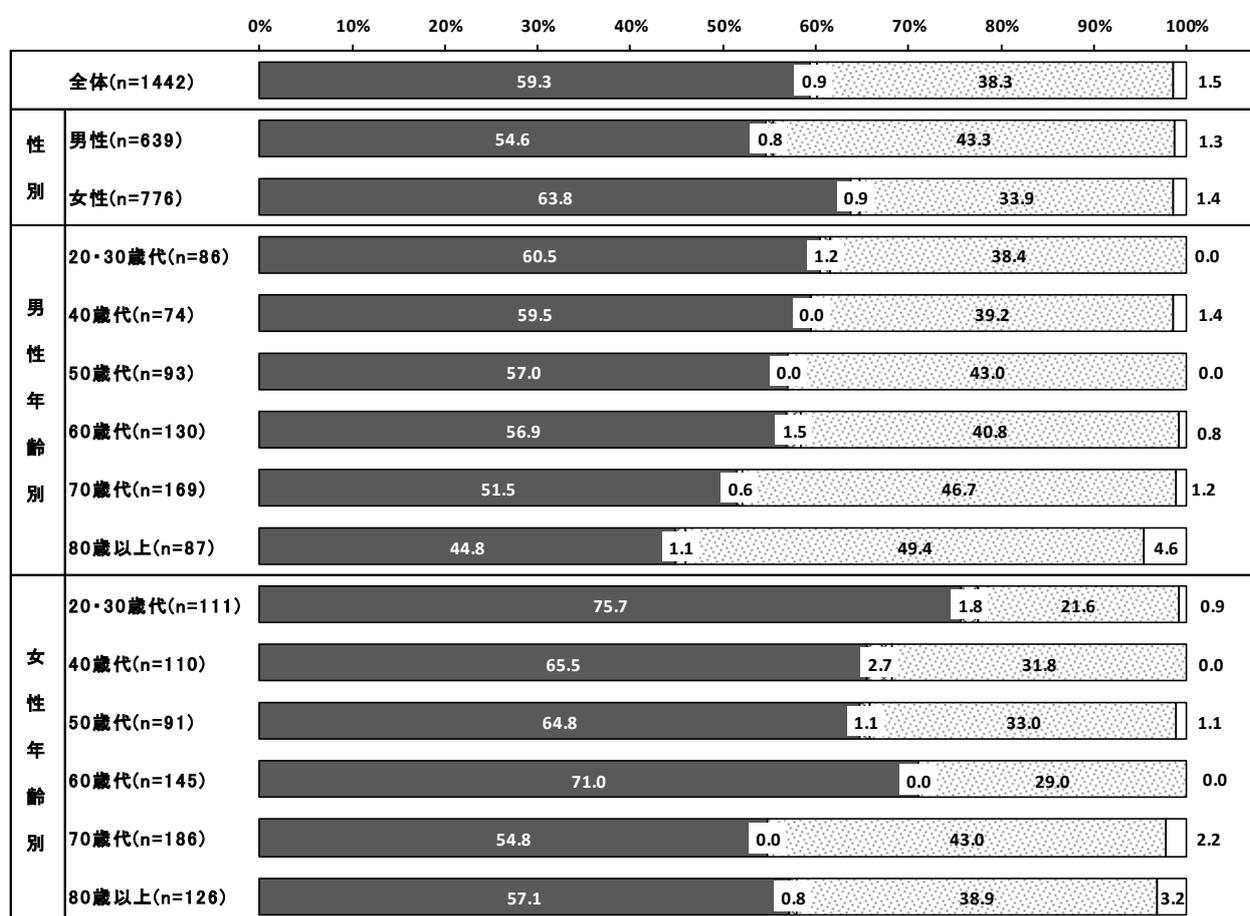
## 15 人生会議を進めることについて（問18）

人生会議を進めることについては、「賛成である」が 59.3%となっており、「反対である」はわずか 0.9%、「分からない」が 38.3%となっています。

### 【属性別特徴】

- 性別にみると、女性では「賛成である」が 63.8%ですが、男性では 54.6%と女性よりも 9.2 ポイント少なくなっている。
- 年齢別にみると、男性では年齢が低いほど「賛成である」が多くなっています。女性でも 20・30 歳代で「賛成である」が 75.7%と最も多いが、次いで 60 歳代が 71.0%と多く、40 歳代(65.5%)、50 歳代(64.8%)と続いています。

問18 あなたは、人生会議を進めることについて、どう思いますか。（1つだけ〇）



■ 賛成である    □ 反対である    □ 分からない    □ 無回答